

取扱説明書

KYL21

DIGNO S

4G LTE

ごあいさつ

このたびは、「DIGNO S」(以下、「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『取扱説明書』(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『取扱説明書』を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

操作説明について

■『設定ガイド』/『取扱説明書』(本書)

主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書』アプリケーションやauホームページより『取扱説明書詳細版』をご参照ください。

http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

- 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

■『取扱説明書』アプリケーション

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書』アプリケーションをご利用できます。
また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

ホームスクリーン→[▦]→[取扱説明書 DIGNO S]

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードして、インストールする必要があります。

■ For Those Requiring an English Instruction Manual
英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。

Download URL:
http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。

http://cs.kddi.com/support/komatta/kosho/index.html

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、LTE/CDMA/GSM/UMTS方式は通信上の高い秘話機能を備えております。)

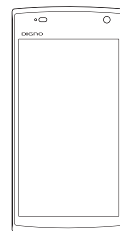
- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』(本書)をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 海外でご利用される場合は、その国/地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。

■ こんな場所では、使用禁止!

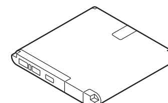
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

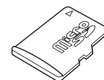
同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

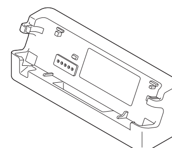


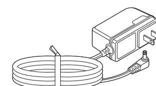
本体


電池パック
(KYL21UAA)



microSDメモリカード
(試供品)
お買い上げ時には、あらかじめ本体に取り付けられています。


急速充電対応卓上ホルダ
(KYL21PUA)


卓上ホルダ専用
ACアダプタ
(KYL21PQA)

- 取扱説明書(本書)
- 設定ガイド
- 本体保証書
- 急速充電対応卓上ホルダ保証書
- 卓上ホルダ専用ACアダプタ保証書
- ご使用上の注意

以下のものは同梱されていません。

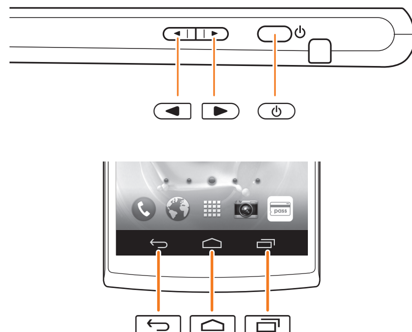
・microUSBケーブル	・イヤホン

目次

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。



■ 項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。
タップとは、ディスプレイに表示されているキーやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です（▶P.35）。

表記例	意味
ホームスクリーン→[（電話）]→[1][4][1]→[発信]	ホームスクリーン下部の「」をタップします。続けて「1」「4」「1」の順にタップして、最後に「」をタップします。
スリープモード中に	スリープモード中にを押します。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書に記載されているイラスト・画面は、実際の製品・画面とは異なる場合があります。
また、画面の一部などを省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。



memo

◎本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどが異なる場合があります。
◎本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
◎本書では「microSD™メモリカード」および「microSDHC™メモリカード」、「microSDXC™メモリカード」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。

免責事項について

◎ 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：京セラ株式会社

■ お知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ **ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。**

● この「安全上のご注意」には本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
● 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷（※1）を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害（※2）を負うことが想定される内容や物的損害（※3）の発生が想定される内容」を示しています。

※1重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

🚫	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。	🚫	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
🚫	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	❗	必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。

	分解してはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただく（強制）内容を示しています。

■ 本体、電池パック、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通

**危険**　**必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。**

 必ず指定の周辺機器をご使用ください。専用の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

 高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

 ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでNFC／おサイフケータイ®の決済機能をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。（NFC／おサイフケータイ®をロックされている場合は、ロックを解除したうえで電源をお切りください。）

 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

 接続端子やイヤホンマイク端子をショートさせないでください。また、接続端子やイヤホンマイク端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入らないようにしてください。火災や故障の原因となります。

 金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子、イヤホンマイク端子、コンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

 カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

 お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

**警告**　**必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

 落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。

 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

 接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

 本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

 本製品は防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体が外部接続端子カバー、イヤホンマイク端子、電池フタなどから本体などに入った場合には、ご使用をやめてください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。

 電池フタを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。電池パックが飛び出すなどして、けがや故障の原因となる場合があります。

 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

 乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。

外部から電源が供給されている状態の本体、指定の充電用機器に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。

コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

電池フタを外したまま使用しないでください。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

本体から電池フタを外したまま、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器をコンセントまたはソケットから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、電池パックを外して、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。



イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。



イヤホンなどを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。



充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

■本体について



警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。



航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。



高精度な電子機器の近くでは、本製品の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知機・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）



植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品の電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、本製品の電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。



通話・メール・インターネット・撮影・ゲームなどをするときや、TV(ワンセグ)を視聴したり、音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認してください。転倒・交通事故の原因となります。



赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、その他赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。



撮影ライト／簡易ライトをご使用になる場合は、人の目の前で発光させないでください。また、撮影ライト／簡易ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。



自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けて撮影ライト／簡易ライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。



ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。



本製品のディスプレイ部には強化ガラスを使用していますが、万一、破損してしまった場合は破損部に触れないでください。破損部でけがをすることがあります。auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。



注意

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。



皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。
本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用場所	使用材料	表面処理
外装ケース(ディスプレイ側)	PA樹脂	アクリル系UV硬化塗装(ホワイト・ピンク) ウレタン系熱硬化塗装(ブラック)
外装ケース(側面)	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装
ディスプレイ	化学強化ガラス	防汚処理
電池フタ	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装(ホワイト・ピンク) ウレタン系熱硬化塗装(ブラック)
外部接続端子カバー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装
⏻キー	アルミニウム	アルマイト処理
◀▶キー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装
カメラレンズ、赤外線ポート部	PMMA樹脂	ハードコート処理
モバイルライト部	PC樹脂	－
アンテナ先端	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装(ホワイト・ピンク) ウレタン系熱硬化塗装(ブラック)
アンテナシャフト	SUS	－

使用場所	使用材料	表面処理
充電端子	PPS樹脂（SUS周囲樹脂） SUS	– 金メッキ処理（下地Niメッキ）
イヤホンマイク端子	PA樹脂	–


キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。


イヤホンマイク端子、microSDメモリカードスロットに液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。


イヤホン（市販品）やストラップなどを持って、本製品を振りまわさないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。


通常は外部接続端子カバーなどを閉めた状態で使用してください。カバーを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。


TV（ワンセグ）視聴時以外ではTVアンテナを収納してください。TVアンテナを引き出したままで通話などをすると顔などにあたり思わぬけがの原因となります。


心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。


砂浜などの上に直に置かないでください。送話口（マイク）、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。


通話・通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となる場合があります。

■電池パックについて



（本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。）
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。


危険　**必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。**


電池パックのプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせないでください。


電池パックを本製品に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず、接続部を十分に確認してから接続してください。


釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。


持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピンなど）などと接続端子、イヤホンマイク端子が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。


分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂の原因となります。


落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。


電池パックを水や海水・ペットの尿などで濡らさないでください。電池パックが濡れると発熱・破裂・発火の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。


液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害を起こすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。


電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。


ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。


指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火･火災･発熱･感電などの原因となります。
- 急速充電対応卓上ホルダ（KYL21PUA）：DC5.0V
- 卓上ホルダ専用ACアダプタ（KYL21PQA）：AC100V～240V
- 上記以外の海外で充電可能なACアダプタ（別売）：AC100V～240V
- 共通DCアダプタ03（別売）：DC12V･24V（マイナスアース車専用）


指定の充電用機器の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱･発火による火災の原因となります。指定の充電用機器が傷んでいるときや、コンセントまたはシガーライタソケットの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。


共通DCアダプタ03（別売）のヒューズが切れたときは、指定（定格250V、1A）のヒューズと交換してください。指定以外のヒューズと交換すると、発熱･発火の原因となります。（ヒューズの交換は、共通DCアダプタ03（別売）の取扱説明書をよくご確認ください。）


指定の充電用機器のケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電･ショート･火災の原因となります。


接続端子、イヤホンマイク端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電･傷害･故障の原因となる場合があります。


雷が鳴り出したら電源プラグに触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。


お手入れをするときは、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。また、指定の充電用機器の電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。


電源プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。


車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置･配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。


長時間使用しない場合は指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜いておいてください。感電･火災･故障の原因となります。


水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱･火災･感電･電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに指定の充電用機器の電源プラグを抜いてください。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。


風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で指定の充電用機器を抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。


充電は安定した場所で行ってください。傾いたところやぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災･故障の原因となります。


指定の充電用機器の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。


共通DCアダプタ03（別売）は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。


本体から電池パックを外した状態で指定の充電用機器を差したまま放置しないでください。発火･感電の原因となります。





皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。
急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)、卓上ホルダ専用ACアダプタ(KYL21PQA)で使用している各部品の材質は以下の通りです。

■ 急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)

使用場所	使用材料	表面処理
外装ケース	ABS樹脂	–
レバー、ノブ	POM樹脂	–
充電端子	真鍮	金メッキ処理(下地Niメッキ)

■ 卓上ホルダ専用ACアダプタ(KYL21PQA)

使用場所	使用材料(金属部)	使用材料(樹脂部)
外装ケース	銅、亜鉛、ニッケル	PC樹脂
コード	-	TPE
コネクタ	鉄、銅、亜鉛、ニッケル、金	PBT

■ au Micro IC Card (LTE)について



警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau Micro IC Card (LTE)を入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。



注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



au Micro IC Card (LTE)の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。



au Micro IC Card (LTE)を使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。
指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。



au Micro IC Card (LTE)を分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分を不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)を折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)を濡らさないでください。故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分を傷付けないでください。故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)はほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■本体、電池パック、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
  また、外部機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能（IPX5、IPX7相当）を発揮するために、電池フタや外部接続端子カバーをしっかりと取り付けた状態でご使用ください。
  ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を侵入させたり、電池パックや充電用機器、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴が付いたままでの電池フタの取り付け／取り外し、外部接続端子カバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
  調査の結果、これらの水濡れの侵入による故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
  （周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。）
  - 充電用機器
  - 周辺機器
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
  （周囲温度5℃～35℃、湿度35%～90%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃～40℃であれば一時的な使用は可能です。）
  - 本製品本体
  - 電池パック・au Micro IC Card (LTE)（本製品本体装着状態）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子、イヤホンマイク端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子、イヤホンマイク端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。乾いた布などで強くこすると、ディスプレイに傷が付く場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになってる近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書詳細版』（本書）をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- 本体には、シールなどを貼り付けないでください。音が出なくなる場合や相手に音声が届かなくなることがあります。

■本体について

- 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
  タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
  以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  ・手袋をしたままでの操作
  ・爪の先での操作
  ・異物を操作面に乗せたままでの操作
  ・保護シートやシールなどを貼っての操作
  ・ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  ・濡れた指または汗で湿った指での操作
  ・水中での操作
- 本製品はアンテナ部に印刷タイプのアンテナを用いています。爪や鋭利な物で引っかくとパターンは切断されて性能が出せなくなります。

- FeliCaアンテナを剥がしてしまうと接点部も剥離して使用できなくなります。FeliCaアンテナを剥がさないでください。また、爪や鋭利な物で引っかくとパターンは切断されて性能が出せなくなりますので、やめてください。
- 電池パックを外したところに貼ってあるIMEIの印刷されたシールは、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、剥がさないでください。
- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク㊜」が本製品本体の銘板シールに表示されております。
  本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ（有料・無料を問わない）などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- イヤホンマイク端子は防水用イヤホンマイク端子を使用していますが水がたまった状態でプラグを挿入されると使用できない場合があります。イヤホンマイク端子に水が残らないように、振って水を出し、乾燥させてから使用してください。
- ポケットやカバンなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部機器を接続するときは、接続端子に対して外部機器のコネクタやプラグがまっすぐになるように抜き差ししてください。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収を行っております。
- 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 通話中、送話口（マイク）を指などで覆わないようにご注意ください。相手にこちらの声が聞こえにくくなります。

- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に光センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。

■タッチパネルについて

- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ポケットやカバンなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■電池パックについて

- 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 長時間使用しない場合は、本体から電池フタを外して電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 電池パックには寿命があります。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の電池パックをご購入ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- 電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから外してください。
- 指定の充電用機器の電源コードを電源プラグ・急速充電対応卓上ホルダ（KYL21PUA）に巻きつけないでください。感電、発熱、火災の原因となります。
- 充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。
- 卓上ホルダ専用ACアダプタ（KYL21PQA）はAC100VからAC240Vまで対応しています。ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換アダプタが必要です。なお、海外旅行用変圧器を使用した充電は行わないでください。

■au Micro IC Card (LTE)について

- au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
- au Micro IC Card (LTE)の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au Micro IC Card (LTE)を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Micro IC Card (LTE)のIC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）などで拭いてください。
- au Micro IC Card (LTE)にシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたau Micro IC Card (LTE)を挿入しないでください。故障の原因となります。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影(結婚式など)をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。
- カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 音楽／動画／TV(ワンセグ)機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびTV(ワンセグ)を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどのほかは、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
  また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影したフォトなどをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。
  ※控え作成の手段：連絡先のデータや音楽データ、撮影したフォトやムービーなど、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。またはメールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめ、ご了承ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	①お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ②お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● 画面ロックの設定

使用例	画面ロックの設定／解除をする場合
初期値	タッチ

● PINコード

使用例	第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

● ロックNo.(「NFC／おサイフケータイロック」)

使用例	「NFC／おサイフケータイロック」を利用する場合
初期値	1234

PINコードについて

■PINコード

第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は入力が不要な設定になっていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は入力が必要な設定に変更できます。

■PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Micro IC Card (LTE)が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- PINコードは「データの初期化」を行ってもリセットされません。

＜この部分をコピーしてご使用ください＞

【パスワード記載欄】

Googleアカウント ID

@gmail.com

Googleアカウントパスワード

au IDアカウントID

au IDアカウントパスワード

FacebookアカウントID

Facebookアカウントパスワード

画面ロック：PIN

画面ロック：パスワード

画面ロック：パターン

防水／防塵性能に関するご注意

本製品は外部接続端子カバー、電池フタが完全に装着された状態でIPX5※1相当、IPX7※2相当の防水性能およびIP5X※3相当の防塵性能を有しております（当社試験方法による）。

具体的には、雨（1時間の雨量が20mm未満）の中、傘をささずに濡れた手で持って通話したり、お風呂やキッチンなど水がある場所でもお使いいただけます。

正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての重要事項」「快適にお使いいただくために」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。

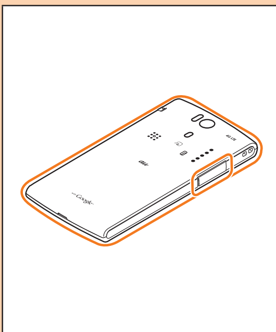
※2 IPX7相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。

※3 IP5X相当とは、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌（かくはん）させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。

利用シーンは、上記条件で確認しており、実際の使用時、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

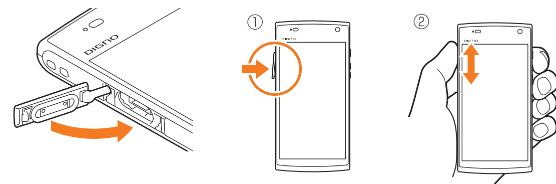
ご使用にあたっての重要事項

- 外部接続端子カバーをしっかり閉じ、電池フタは完全に装着した状態にしてください。
  - 完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
  - 接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1個など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
  - 手や本体が濡れている状態での外部接続端子カバー、電池フタの開閉は絶対にしないでください。また、イヤホンマイク端子に水が入った状態で、イヤホン（市販品）を差し込まないでください。



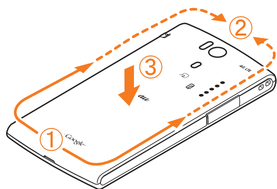
外部接続端子カバーの閉じかた

カバーのヒンジを収納してから①カバー全体を指の腹で押し込んでください。②矢印の方向になぞり、カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。



電池フタの取り付けかた

電池フタを本体に合わせて装着してから、フタ全体に浮きがないように注意しながら①から②の方向へ矢印に沿ってなぞり、中央部③をしっかりと押して取り付けてください。



● 石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。
● 海水、プール、温泉の中に浸けないでください。
● 水以外の液体(アルコールなど)に浸けないでください。
● 砂浜などの上に直に置かないでください。送話口(マイク)、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
● 水中で使用しないでください。
● お風呂、台所など、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。



石けん・洗剤・入浴剤


海水


プール


温泉


砂・泥

快適にお使いいただくために

● 水濡れ後は本体の隙間に水がたまっている場合があります。よく振って水を抜いてください。特に電池フタおよびキー部内の水を抜いてください。
● 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やカバンの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
● 送話口(マイク)に水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。

■利用シーン別注意事項

<雨の中>

雨の中、傘をささずに濡れた手で持って通話できます。

- 雨とは、「やや強い雨」の場合(1時間の雨量が20mm未満まで)を指します。
- ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。
- 雨がかかっている最中、または手が濡れている状態での外部接続端子カバー、電池フタの開閉は絶対にしないでください。

<シャワー>

シャワーを浴びた濡れた手で持って通話できます。

- 耐水圧設計ではないので高い水圧が直接かかるようなご使用はしないでください。

<洗う>

やや弱めの水流(6リットル/分以下)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5℃~35℃)の水道水で洗えます。

- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗うときは電池フタをしっかり閉じた状態で、外部接続端子カバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 石けん、洗剤などの水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。

<お風呂>

お風呂で使用できます。

- 濡れた手で通話できますが、湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
- お風呂場での長時間のご使用はおやめください。防湿仕様ではありません。
- 温泉や石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。また、水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- ディスプレイの内側に結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。
- TV(ワンセグ)を見るときは安定した場所に置いてご使用ください。
- 高温のお湯をかけないでください。耐熱設計ではありません。
- 急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)、卓上ホルダ専用ACアダプタ(KYL21PQA)をお風呂場へ持ち込まないでください。

＜プールサイド＞

- プールの水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- プールの水には消毒用塩素が含まれているため、プールの水がかかった場合には速やかに常温の水道水※で洗い流してください。洗う際にブラシなどは使用しないでください。
  ※やや弱めの流水（6リットル／分以下）

＜キッチン＞

キッチンなど水を使う場所でも使用できます。

- 石けん、洗剤、調味料、ジュースなど水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。
- 熱湯に浸けたり、かけたりしないでください。耐熱設計ではありません。
- コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になる場所に置かないでください。
- TV（ワンセグ）を見るときは安定した場所に置いてご使用ください。

■共通注意事項

外部接続端子カバー、電池フタについて

外部接続端子カバーはしっかりと閉じ、電池フタは完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1個など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

外部接続端子カバーを開閉したり、電池フタを取り外し、取り付ける際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1個など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。

外部接続端子カバー、電池フタに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。これらのときは、お近くのauショップまでご連絡ください。

水以外が付着した場合

万一、水以外（海水・洗剤・アルコールなど）が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。

やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。

汚れた場合、ブラシなどは使用せず、電池フタ、外部接続端子カバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。

水に濡れた後は

水濡れ後は水抜きをし、電池フタを外さないで、本体、電池フタとも乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。

寒冷地では本体に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

（本製品は、結露に関しては特別な対策を実施しておりません。）

ゴムパッキンについて

外部接続端子カバー周囲のゴムパッキン、電池フタのゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、剥がしたりしないでください。

外部接続端子カバー、電池フタを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1個など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

水以外の液体（アルコールなど）が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。

外部接続端子カバー、電池フタの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本体が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、浸水の原因となります。

防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのauショップまでご連絡ください。

充電について

本体が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。

付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。

防水性能について

耐水圧設計ではありませんので、高い水圧がかかる場所（蛇口・シャワーなど）でのご使用や、水中に長時間沈めることはおやめください。また、規定以上の強い水流（6リットル／分以上の水流：例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。本製品はIPX5相当の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。

本製品は水に浮きません。

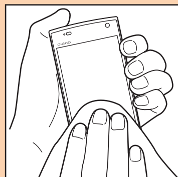
耐熱性について
熱湯・サウナ・熱風（ドライヤーなど）は使用しないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

衝撃について
本製品は耐衝撃性能を有しておりません。落下させたり、衝撃を与えないでください。また、送話口（マイク）、スピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。本体が破損・変形するおそれがあり、浸水の原因となります。

■水に濡れたときの水抜きについて

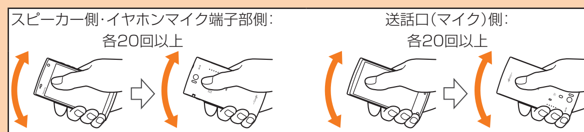
本製品を水に濡らした場合、非耐水エリアがありますので、そのまま使用すると衣服やカバンなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。
下記手順で水抜きを行ってください。

1 本体表面の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



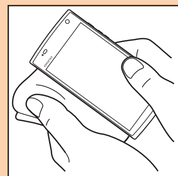
2 振りかたについて

① 本体をしっかり持ち、水が出なくなるまで本体を矢印方向に振ります。
※ 振る際は周りに危険がないことを確認してください。
※ 本体が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。



② 出てきた水分を拭き取ります。
※ 送話口（マイク）、スピーカー部、イヤホンマイク端子部は特に水が抜けにくいため、押し付けるように各部分を下側にして拭き取ってください。
③ 乾いたタオルや布の上に置き、常温でしばらく放置します。

3 繊維くずの出ない乾いた清潔な布などに本体を軽く押し当て、送話口・スピーカー・外部接続端子部・イヤホンマイク端子部などの隙間に入った水分を拭き取ってください。



4 本体から出た水分を十分に取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させてください。

上記手順を行った後でも、本体に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののそばには置かないでください。
また、衣服やカバンなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。

■充電のときは

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 本体が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、急速充電対応卓上ホルダ（KYL21PUA）に差し込んだり、外部接続端子カバーを開いたりしてください。
- 外部接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。外部接続端子カバーからの浸水を防ぐため、急速充電対応卓上ホルダ（KYL21PUA）、卓上ホルダ専用ACアダプタ（KYL21PQA）を使用して充電することをおすすめします。
- 濡れた手で指定の充電用機器に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりでは使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災・感電の原因となります。

Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能をご使用の場合のお願い

Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能について

- 本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 本製品の無線LAN機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 無線LANやBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用はできません。Wi-Fi対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

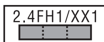
1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

- 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LANの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LANによるデータ通信を行う際はご注意ください。
- 無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- Bluetooth®・無線LAN通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

- **Bluetooth®機能：2.4FH1/XX1**



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式等を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

- **無線LAN機能：2.4DS/OF4**



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。
W52（5.2GHz帯／36, 38, 40, 44, 46, 48ch）
W53（5.3GHz帯／52, 54, 56, 60, 62, 64ch）
W56（5.6GHz帯／100, 102, 104, 108, 110, 112, 116, 118, 120, 124, 126, 128, 132, 134, 136, 140ch）

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n
J52 W52 W53 W56

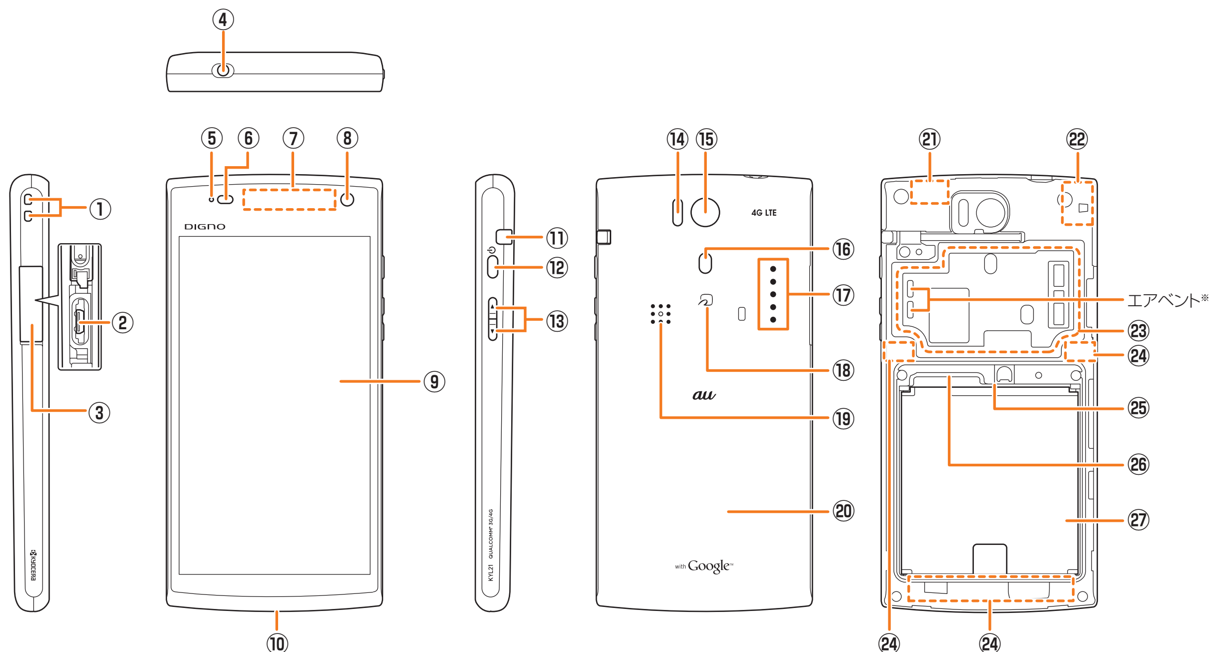
パケット通信料についてのご注意

◎本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
◎本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります（「auからの重要なお知らせメール」、「WEB de 請求書お知らせメール」などのEメール受信も有料となります）。
※Wi-Fi®接続の場合はパケット通信料はかかりません。

Google Play／au Market／アプリケーションについて

◎アプリケーションのインストールは安全であることをご確認の上、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
◎万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
◎お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしないとご利用できない場合があります。
◎アプリケーションの中には動作中スリープモードにならなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
◎本製品に搭載されているアプリケーションやインストールされているアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードにインストールされる場合と、本体メモリにインストールされる場合があります。

各部の名称と機能



※ 本製品は防水仕様のため、本体の密閉度が高くなっています。そのため、エアベント（空気抜き用の穴）を設けています。
- エアベントは防水性に影響を与えません。
- シールなどでエアベントをふさがないでください。

① **ストラップ取付口**

② **外部接続端子**

共通ACアダプタ04（別売）やmicroUSBケーブル01（別売）などの接続時に使用します。

③ **外部接続端子カバー**

④ **イヤホンマイク端子**

⑤ **着信（充電）ランプ**

充電中は赤色で点灯します。

着信時、メール受信時には設定内容に従って点滅します。

⑥ **近接センサー／光センサー**

近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。

光センサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。

⑦ **受話部（レシーバー）**

スマートソニックレシーバーで通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音などが聞こえます。

詳しくは「スマートソニックレシーバーについて」（▶P.26）をご参照ください。

⑧ **インカメラ（レンズ部）**

⑨ **ディスプレイ**

⑩ **送話口（マイク）**

通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。通話中やムービー録画中は、マイクを指などで覆わないようにご注意ください。

⑪ **TVアンテナ**

TV（ワンセグ）を視聴するときに伸ばして使用します。通話時やブラウザご利用時などに伸ばしても、通話やデータ通信に影響はありません。

⑫ **（⏻）電源キー**

電源ON／OFFやスリープモードの移行／解除などに使用します。

⑬ **（◀）（▶）音量DOWN／UPキー**

音量を調節します。

スリープモード中に（▶）を長く押すと、「すぐごえ」が起動します。

⑭ **赤外線ポート**

赤外線通信で、データの送受信を行います。

⑮ **アウトカメラ（レンズ部）**

⑯ **撮影ライト／簡易ライト**

⑰ **充電端子**

急速充電対応卓上ホルダ（KYL21PUA）を使用して充電するときの端子です。

⑱ **FeliCaマーク**

NFC／おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。

IC通信で、データの送受信を行います。

⑲ **スピーカー**

着信音やアラーム音などが聞こえます。

⑳ **電池フタ**

㉑ **Wi-Fi®アンテナ部※**

㉒ **GPS／Bluetooth®／Wi-Fi®アンテナ部※**

㉓ **FeliCaアンテナ部**

㉔ **メイン／サブアンテナ部※**

㉕ **au Micro IC Card (LTE)挿入口**

㉖ **microSDメモリカードスロット**

㉗ **電池パック**

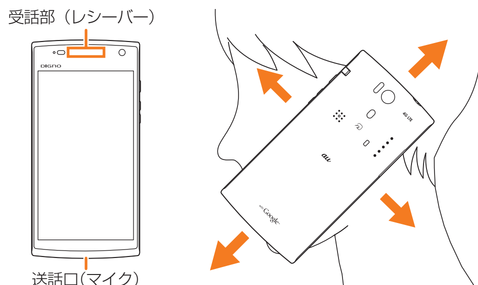
※ アンテナ部付近を手で覆ったり、シールなどを貼ったりしないでください。通話／通信品質に影響を及ぼす場合があります。アンテナ部を爪や鋭利な物で引っかくとパターンは切断されて性能が出せなくなります。また、FeliCaアンテナを剥がしてしまうと接点部も剥離して使用できなくなります。アンテナ部を引っかいたり剥がしたりしないでください。

スマートソニックレシーバーについて

本製品は、ディスプレイ部を振動させて音を伝えるスマートソニックレシーバーを搭載しています。受話部(レシーバー)に穴はありませんが、通常通りご使用いただけます。

■耳への当てかた

下図のように、本製品の受話部(レシーバー)付近を耳に当て、耳を覆うことで周囲の騒音を遮蔽し、音声がより聞き取りやすくなります。ご自身の聞こえかたや周囲の環境に合わせて本製品の位置を上下左右に動かし、調整してください。



memo

◎通話時に本製品の送話口(マイク)を指などでふさがないようにご注意ください。
◎イヤホン(市販品)を接続している場合は、スマートソニックレシーバーを利用した音声ではなく、イヤホンからの音声に切り替わります。
◎ディスプレイにシールやシート類などを貼らないでください。受話音が聞き取りにくくなる場合があります。
◎聞き取りやすさには個人差があります。
◎周囲の環境により、聞き取りやすさの効果は異なります。

電池パックを取り付ける／取り外す

電池パックは、本製品専用のものを使用して正しく取り付けてください。

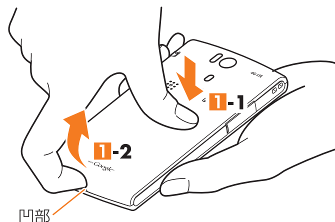
memo

◎電池パックと電池フタの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。

電池パックを取り付ける

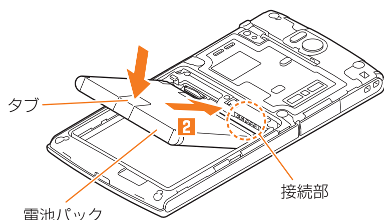
1 本体裏面の電池フタを取り外す

電池フタの中央部分を軽く押さえながら(**1-1**)、電池フタの凹部に指先(爪など)をかけて、矢印の方向に持ち上げて取り外します(**1-2**)。

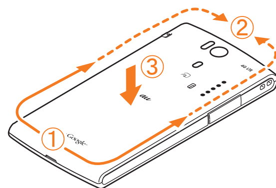


2 接続部の位置を確かめて、電池パックをスライドさせて確実に押し込む

タブが上に出ていることを確認してください。



3 電池フタを本体に合わせて装着してから、カバー全体に浮きがないように注意しながら①から②の方向へ矢印に沿ってなぞり、中央部③をしっかりと押す





◎ au Micro IC Card (LTE)が確実に装着されていることを確認してから電池パックを取り付けてください。

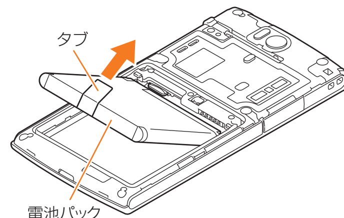
◎ 取り付け時に間違った取り付けかたをすると、電池パックおよび電池フタ破損の原因となります。

◎ 電池フタを取り付けるときは、電池パックのタブを挟み込まないようご注意ください。

電池パックを取り外す

1 本体裏面の電池フタを取り外す（▶P.26）

2 電池パックのタブを上に引き、取り外す



3 電池フタを取り付ける（▶P.27）



◎ 電池パックを取り外すときは、タブを上に引くようにしてください。タブ以外の方向から持ち上げようとすると、本体または電池の接続部を破損するおそれがあります。

au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)にはお客様の電話番号などが記録されています。
本製品はau Micro IC Card (LTE)にのみ対応しております。au携帯電話、スマートフォンとau ICカードやmicro au ICカードを差し替えてのご利用はできません。

au Micro IC Card(LTE)



IC(金属)部分

memo

◎au Micro IC Card (LTE)を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分や、本製品本体のICカード用端子には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎au Micro IC Card (LTE)着脱時は、必ず指定のACアダプタなどの電源プラグを本製品本体から抜いてください。

◎au Micro IC Card (LTE)を正しく取り付けていない場合やau Micro IC Card (LTE)に異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。

◎取り外したau Micro IC Card (LTE)はなくさないようにご注意ください。

■au Micro IC Card (LTE)が挿入されていないと…

au Micro IC Card (LTE)以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。
au Micro IC Card (LTE)を挿入しないで電源を入れた場合は、次の操作※1を行うことができません。また、ステータスバーに[?]が表示されます。

- 電話をかける※2/受ける
- SMSの送受信
- Eメール(@ezweb.ne.jp)の初期設定および送受信
- UIMカードロック設定
- 自局電話番号/自局メールアドレスの確認

※1 上記の操作以外にも、お客様の電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。
※2 110番(警察)・119番(消防機関)・118番(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。

■PINコードによる制限設定

au Micro IC Card (LTE)をお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やUIMカードのロックにより他人の使用を制限できます。(▶P.16「PINコードについて」)

au Micro IC Card (LTE)を取り付ける

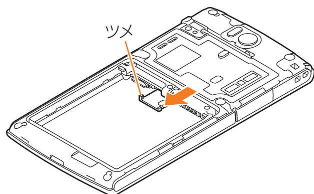
au Micro IC Card (LTE)の取り付けは、電源を切り、電池パックを取り外してから行います。

1 本体の電源を切り、電池パックを取り外す

(▶P.27「電池パックを取り外す」)

2 ツメに指をかけトレイをまっすぐに引き出す

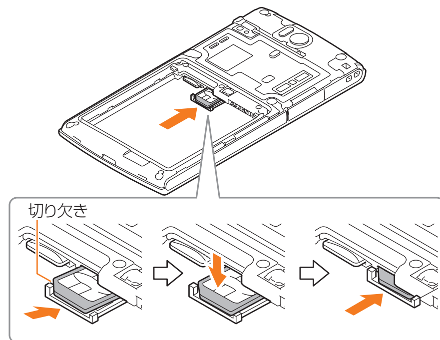
トレイは矢印位置までしか引き出せません。また、トレイを強く引くと、トレイが破損する場合があります。



3 トレイの上にIC面を上にしてau Micro IC Card (LTE)をのせ、トレイとau Micro IC Card (LTE)を奥まで押し込む

切り欠きの方向にご注意ください。

トレイを奥まで押し込んだ際の正しい位置は、au Micro IC Card (LTE)の端が少し見える程度の位置です。



4 電池パック・電池フタを取り付ける(▶P.27)

au Micro IC Card (LTE)を取り外す

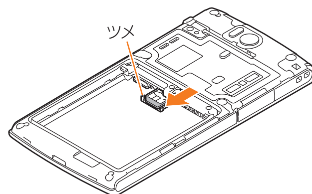
au Micro IC Card (LTE)の取り外しは、電源を切り、電池パックを取り外してから行います。

1 本体の電源を切り、電池パックを取り外す

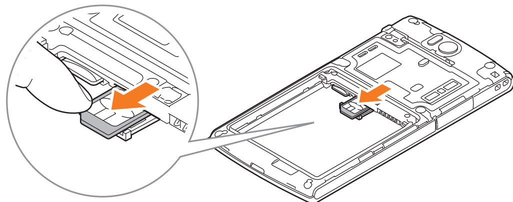
(▶P.27「電池パックを取り外す」)

2 ツメに指をかけトレイをまっすぐに引き出す

トレイは矢印位置までしか引き出せません。また、トレイを強く引くと、トレイが破損する場合があります。



3 au Micro IC Card (LTE)をスライドさせるようにして取り外す



4 電池パック・電池フタを取り付ける(▶P.27)

充電する

お買い上げ時には、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。赤色に点灯していた充電ランプが消灯したら充電完了です。充電時間とご利用可能時間は、次の通りです。

■ 充電時間(目安)

本製品の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)	約120分
共通ACアダプタ04(別売)	約160分
共通DCアダプタ03(別売)	約380分

■ ご利用可能時間

連続待受時間※	約580時間(LTEエリア)
	約720時間(3Gエリア)
連続通話時間※	約1110分

※日本国内でご利用の場合の時間です。海外でご利用の場合の時間については、「主な仕様」(▶P.67)をご参照ください。

memo

◎ 充電中、本製品本体と電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。
◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
◎ 電池パックは、「安全上のご注意」(▶P.5)をよくお読みになってお取り扱いください。
◎ 指定の充電用機器を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電/放電を繰り返す場合があり、電池のもちが悪くなります。
◎ 周囲温度や本製品の温度が、極端に高温や低温になっている場合には、充電が停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。
◎ 本製品の充電ランプが赤色に点滅したときは、電池パックの取り付け、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
◎ 電源端子・充電端子は、ときどき乾いた綿棒などで、端子が変形しないように注意して掃除してください。汚れていると正常に充電されない場合があります。
◎ 水分やほこりなどが入らないように、外部接続端子カバーは、充電後しっかりと閉めてください。また、強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。
◎ 連続待受時間および連続通話時間は、電波を正常に受信できる移動状態と静止状態の組み合わせによるそれぞれの平均的な利用可能時間です。充電状態、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、次のような場合には、ご利用可能時間は半分以下になることもあります。
- (圏外)が表示される場所での使用が多い場合
- Wi-Fi®機能、メール機能、カメラ機能、TV(ワンセグ)機能、位置情報などの使用
- アプリケーションなどでスリープモードに移行しないように設定されている場合
- バックグラウンドで動作するアプリケーションを使用した場合

◎ 充電中、充電ランプがまだ点灯しているときに充電をやめると、(十分)が表示されていても充電が十分にできていない場合があります。その場合は、ご利用可能時間が短くなります。

■急速充電対応卓上ホルダ（KYL21PUA）を使って充電する

付属の急速充電対応卓上ホルダ（KYL21PUA）と卓上ホルダ専用ACアダプタ（KYL21PQA）を使用すると、従来よりも短い時間で急速に充電することができます。

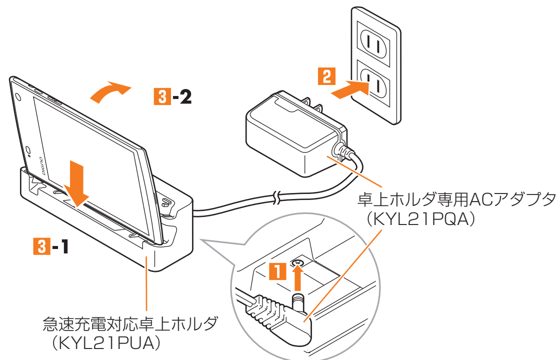
- 急速充電対応卓上ホルダ（KYL21PUA）には、卓上ホルダ専用ACアダプタ（KYL21PQA）を接続してご使用ください。

1 卓上ホルダ専用ACアダプタ（KYL21PQA）のプラグを急速充電対応卓上ホルダ（KYL21PUA）の外部接続端子にまっすぐに差し込む

2 卓上ホルダ専用ACアダプタ（KYL21PQA）の電源プラグをコンセント（AC100V～240V）に差し込む

3 3-1、3-2の順に本製品を急速充電対応卓上ホルダ（KYL21PUA）に差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯します。
充電が完了すると、充電ランプが消灯します。



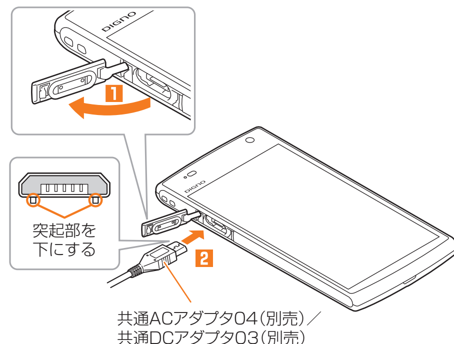
4 充電が終わったら、本製品を手前に倒すようにして急速充電対応卓上ホルダ（KYL21PUA）から取り外す

■指定のACアダプタ（別売）／DCアダプタ（別売）を使って充電する

共通ACアダプタ04（別売）／共通DCアダプタ03（別売）を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ（別売）／DCアダプタ（別売）については、「周辺機器のご紹介」（▶P.62）をご参照ください。

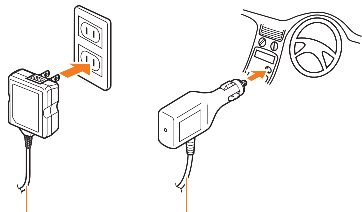
1 本製品の外部接続端子カバーを開ける

2 共通ACアダプタ04（別売）／共通DCアダプタ03（別売）のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む



3 共通ACアダプタ04（別売）の電源プラグをコンセント（AC100V～240V）に差し込む／共通DCアダプタ03（別売）のプラグをシガーライタソケットに差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯します。本製品の電源が入っている場合は、ステータスバーに▮が表示されます。
充電が完了すると、充電ランプが消灯します。



4 充電が終わったら、外部接続端子から共通ACアダプタ04（別売）／共通DCアダプタ03（別売）のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜く

5 外部接続端子カバーを閉じる

6 共通ACアダプタ04（別売）の電源プラグをコンセントから抜く／共通DCアダプタ03（別売）のプラグをシガーライタソケットから抜く



◎外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
◎電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。

■パソコンを使って充電する

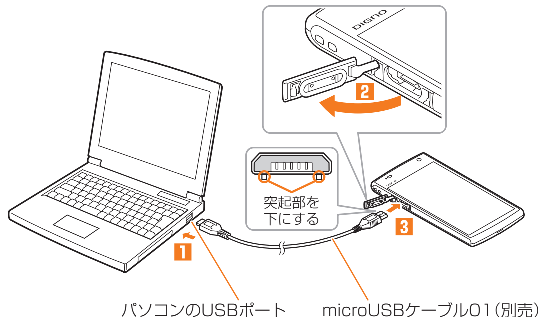
microUSBケーブル01（別売）を利用して、本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01（別売）をパソコンのUSBポートに接続

2 本製品の外部接続端子カバーを開ける

3 microUSBケーブル01（別売）のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯します。
充電が完了すると、充電ランプが消灯します。
- パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。



4 充電が終わったら、microUSBケーブル01（別売）を外部接続端子とパソコンから取り外す

memo

◎電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。
◎指定のACアダプタでの充電と比べて時間が長くかかることがあります。また、お使いのパソコンによっても充電時間は変動します。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 着信ランプが点灯するまで（⏻）を長く押す

しばらくすると、ロック解除画面が表示されます。
「（鍵アイコン）」をタップ（▶P.35）するとロックが解除され、ホームスクリーン（▶P.36）が表示されます。
「（カメラアイコン）」／「（すぐごえアイコン）」／「（すぐ文字アイコン）」をタップしてロックを解除すると、カメラ／すぐごえ／すぐ文字が起動します。

• お買い上げ時、初めて電源を入れたときは、au ID設定などを行える「auかんたん設定」が起動します。「au IDの設定をする」（▶P.34）の操作2以降を参照して、必要に応じて設定を行ってください。
また、ホームスクリーンについての説明画面も表示されますので、確認後「OK」をタップしてください。



《ロック解除画面》

memo

◎電源を入れてから各種ロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。
◎不在着信や新着メールなどがあるときは、ロック解除画面にアプリケーションのアイコンが表示されます。タップするとロックが解除され、対応するアプリケーションが起動します。
◎お買い上げ時に「auかんたん設定」の操作をスキップしても、後から設定することができます（▶P.34）。
◎電源を入れたときに充電ランプが黄色で点滅している場合は、起動するのに電池残量が十分でないことを示しています。充電してお使いください。

電源を切る

1 （⏻）（1秒以上長押し）

2 [電源を切る]→[OK]

スリープモードについて

（⏻）を押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。次の操作を行うと、スリープモードを解除できます。

1 スリープモード中に（⏻）

ロック解除画面が表示されます。

memo

◎スリープモード中に（⏻）を押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

au IDの設定をする

au IDを設定すると、au MarketやGoogle Playに掲載されているアプリケーションの購入ができる「auかんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。
「auかんたん設定」を利用すると、au ID設定などを行うことができます。

1 ホームスクリーン→[ ]→[auかんたん設定]

2 [次へ]→[登録]→[OK]→[au IDの設定・保存]
認証を開始します。

3 画面の指示に従って操作し、au IDを設定
au IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau IDを設定します。
au IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。
引き続き、画面の指示に従って操作してください。



◎ au IDのみ設定する場合は、「au ID 設定」を利用することもできます。

Googleアカウントをセットアップする

Googleアカウントをセットアップすると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。
Googleアカウントがセットアップされていないときにアカウントが必要なアプリケーションや機能を起動すると、セットアップ画面が表示されます。

1 Googleアカウントのセットアップ画面

■Googleアカウントをすでにお持ちの場合

2 [既存のアカウント]→メールアドレスとパスワードを入力→「ログイン」

3 画面の指示に従って操作

■Googleアカウントをお持ちではない場合

2 [新しいアカウント]→画面の指示に従って操作し、Googleアカウントを登録

■ログインできない場合

1 ホームスクリーン→[(ブラウザ)]→URL表示欄を選択→「http://www.google.com/accounts/recovery/」を入力→[実行]

2 ログインできない理由を選択→必要に応じてメールアドレスを入力→[続行]

3 画面の指示に従って操作

基本操作

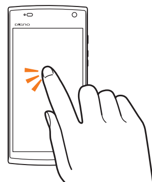
タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物をディスプレイに乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
  - 水中での操作

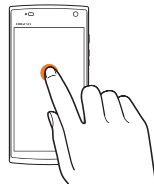
■タップ/ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



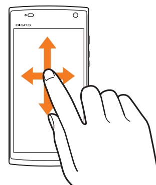
■ロングタッチ

項目やキーなどに指を触れた状態を保ちます。



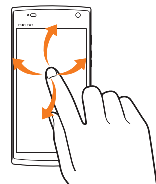
■スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



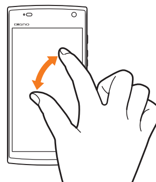
■フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。



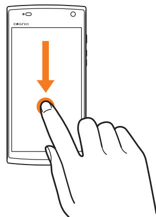
■指を広げる/狭める

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり、閉じたりします。



■ ドラッグ

画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



ナビゲーションバーの使いかた

画面下部のナビゲーションバーには次のキーが表示されます。

↩：1つ前の画面に戻ります。

⌂：ホームスクリーンを表示します。

▭：最近使用したアプリケーションの一覧を表示します。

画面によっては、上記以外のキーが表示されることがあります。

縦／横画面表示を切り替える

本製品の向きに合わせて、自動的に縦／横画面表示を切り替えることができます。



◎本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。

◎縦／横画面表示を切り替えるかどうかは、「画面の自動回転」で設定できます。

◎アプリケーションによっては、本製品の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

ホームスクリーンを利用する

ホームスクリーンにはショートカットやウィジェット、フォルダを追加することができます。「⌂」をタップすると、いつでもホームスクリーンを表示することができます。

① **ステータスバー**

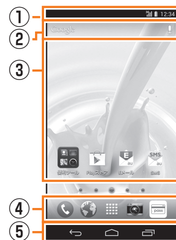
② **クイック検索ボックス**

③ **ショートカット／ウィジェット／フォルダ**

お買い上げ時は、便利ツールなどが表示されます。

④ **クイック起動エリア**

⑤ **ナビゲーションバー**



《ホームスクリーン》

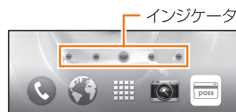
■ホームスクリーンを切り替える

ホームスクリーンは複数の画面で構成されており、左右にスライド／フリックすると切り替えることができます。



《ホームスクリーンの切り替えイメージ》

- 初回切り替え時には、説明画面が表示されます。
- ホームスクリーンの画面下部には現在の表示位置を示すインジケータが表示されます。
  インジケータをタップしてホームスクリーンを切り替えることもできます。



memo

◎お買い上げ時には左右に2枚ずつ、合計5枚のホームスクリーンがあらかじめ設定されています。

■ホームスクリーンを編集する

ホームスクリーンで指を狭めるとサムネイルが表示され、ホームスクリーンの追加／削除や並び替えなどの操作ができます。ホームスクリーンは最大9枚まで追加することができます。

memo

◎ホームスクリーン→空きスペースをロングタッチ→[壁紙]と操作すると、ホームスクリーンの壁紙を変更できます。ライブ壁紙を設定すると、電池の消耗が激しくなりますのでご注意ください。

ホームスクリーンにウィジェット／ショートカット／フォルダを追加する

アプリケーションのウィジェットやショートカット、フォルダをホームスクリーンに追加できます。

■ウィジェット／ショートカットを追加する場合

1 ホームスクリーン→空きスペースをロングタッチ→[ウィジェット追加]／[ショートカット追加]

2 ウィジェット／アプリケーションをタップ

ホームスクリーンの空きスペースに自動で追加されます。

■フォルダを作成する場合

ショートカットをドラッグして他のショートカットに重ねるとフォルダが作成され、複数のアイコンを収納できます。

memo

◎操作2でウィジェット／アプリケーションをロングタッチすると、ホームスクリーンのサムネイルが表示されます。表示する位置へドラッグして指を離すと、追加できます。

◎表示しているホームスクリーンに空きスペースがない場合などは追加できません。

フォルダについて

◎フォルダを選択→フォルダ下部のフォルダ名をタップ→フォルダ名を入力→[完了]と操作すると、フォルダ名を変更できます。

◎フォルダをタップして、表示されるショートカットをドラッグしてフォルダの外に移動すると、フォルダから削除することができます。

◎ショートカットが1つになると、フォルダ表示は解除されます。

■ウィジェット／ショートカット／フォルダを移動／削除する

1 移動／削除するウィジェット／ショートカット／フォルダをロングタッチ

■移動する場合

2 移動する位置へドラッグして、指を離す

■削除する場合

2 画面上部の「削除」にドラッグして、指を離す



memo

◎ホームスクリーンの左端または右端にドラッグすると、ホームスクリーンのサムネイルが表示され、表示したい位置に移動できます。

便利ツール／My Selectionを利用する

便利ツール／My Selectionは、よく利用するアプリケーションのショートカットを、ホームスクリーン上にまとめておけるフォルダ／ウィジェットです。



便利ツール（フォルダ）



My Selection（ウィジェット）

1 ホームスクリーン→[（便利ツール）]／[（My Selection）]

2 起動するアプリケーションのショートカットをタップ

アプリケーションが起動します。

■便利ツール／My Selectionを編集する

便利ツール／My Selectionでは、ショートカットをロングタッチして入れ替えや削除の操作を行うことができます。また、My Selectionでは[＋]→アプリケーションを選択、と操作すると、ショートカットを追加できます。

アプリ一覧を利用する

インストールされているアプリケーションの一覧が表示されます。

1 ホームスクリーン→[▦]

アプリ一覧が表示されます。

初回起動時には、アプリの選択についての説明画面が表示されます。確認後、「OK」をタップしてください。

① **カテゴリータイトル**

タップすると、タイトル一覧を表示します。

ロングタッチすると、タイトルを変更できます。

② **メニューアイコン**

アプリ一覧のメニューを表示します。



《アプリ一覧（カテゴリー順）》

2 起動するアプリケーションのアイコンをタップ

アプリケーションが起動します。

memo

◎「シンプルメニュー設定」（▶P.39）がオンに設定されている場合は、ホームスクリーンで「▦」をタップするとシンプルメニューが表示されます（▶P.40）。
◎ダウンロードしたアプリケーションは、アプリ一覧の「ダウンロードしたアプリ」のページに配置されます。
◎各アプリケーションからそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

■主なアプリケーション

アイコンの表示名	ページ
すぐごえ 音声入力で、アプリケーションを起動できます。	―
すぐ文字 入力した文字を利用して、アプリケーションを起動できます。	―
赤外線	―
アラーム	―
カレンダー	―
電卓	―
おサイフケータイ	―
メモ帳	―
OfficeSuite Word、Excelなどのファイルを閲覧できます。	―
簡易ライト	―
省電力ナビ 電池の消耗を最小値に抑えるように設定します。	P.55
ファイル管理 microSDメモリカード内のデータを一覧で表示し、再生を行うことができます。	―
ダウンロード ダウンロードしたデータの管理を行うことができます。	―
設定	P.60
電話	P.51
ブラウザ	―
カメラ	―
auスマートパス	―

memo

◎その他にもアプリケーションは搭載されています。詳しくは『取扱説明書詳細版』をご参照ください。

アプリ一覧のメニューを利用する

1 **アプリ一覧→[⋮]**

2

シンプルメニュー設定	シンプルメニューのオン／オフを切り替えます。
アプリの表示順	アプリ一覧を「50音順」「ダウンロード順」「カテゴリー順」で切り替えます。
アプリの並び替え	▶P.40「アプリ一覧のアイコンを移動する」
アプリの管理	アプリ管理画面が表示されます。
端末設定	▶P.60「機能設定」

※メニューに表示される項目は、画面によって異なります。

アプリ一覧のアイコンを移動する

アプリの表示順が「カテゴリー順」の場合、アプリケーションのアイコンをアプリ一覧内の別の位置へ移動できます。

1 アプリ一覧→[⋮]→[アプリの並び替え]

2 アイコンをロングタッチ→移動する位置までアイコンをドラッグして、指を離す→[完了]

クイック起動エリアを利用する

よく使うアプリケーションをホームスクリーンのクイック起動エリアに配置できます。
クイック起動エリアは、ホームスクリーンのどの画面でも固定で表示されます。お買い上げ時には、電話、ブラウザ、カメラ、auスマートパスが登録されています。

1 アプリ一覧→アイコンをロングタッチ→ホームスクリーンのサムネイルにアイコンをドラッグして、指を離す

2 ホームスクリーンに移動したアイコンをロングタッチ→クイック起動エリアにアイコンをドラッグして、指を離す



◎ クイック起動エリアに空きスペースがない場合でも、すでにあるアイコンに追加したいアイコンを重ねてフォルダを作成することもできます。

シンプルメニューを利用する

「シンプルメニュー設定」（▶P.39）をオンに設定すると、基本的な機能を配置した「シンプルメニュー」が表示されるようになります。アイコンを選択するとアプリケーションを起動できます。

1 ホームスクリーン→[▦]

シンプルメニューが表示されます。



《シンプルメニュー》



◎ シンプルメニューのアプリケーションは変更できません。

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせするお知らせアイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■主なお知らせアイコンの例

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着メールあり（SMS）
	新着メールあり（Eメール）
	新着メールあり（PCメール）
	新着メールあり（Gmail）
	スヌーズ中のアラームまたは解除せずに終了したアラームあり
	カレンダーの予定通知あり
	ワンセグ起動中
	音楽再生中
	発信中、通話中または着信中
	伝言メモあり
	本体の空き容量が少ないとき
	他のBluetooth®機器からファイル受信リクエストあり
	USB接続中
	データを送信／アップロード
	データを受信／ダウンロード
	インストール完了
	インストール済みアプリケーションのアップデート通知
	VPN接続中、未接続
	メジャーアップデート（OS用）とソフトウェア更新あり
	GPS利用中

アイコン	概要
	USBテザリング中
	Wi-Fiテザリング中
	USBテザリングとWi-Fiテザリングを同時に使用中
	省電力ナビ動作中
	スクリーンショット完了
	microSDメモリカードのマウント解除中
	キーボード表示中
	MHL接続中
	NFC R/W P2P機能利用中

■主なステータスアイコンの例

アイコン	概要
12:34	時刻
	電池レベル状態 100%／残量なし／充電中
	電波の強さ･通信状態(LTE／3G) レベル4／圏外／通信中 LTE使用可能／3G使用可能／ローミング中
	機内モード設定中
	au Micro IC Card (LTE)未挿入
	Wi-Fi®の電波の強さ レベル4／レベル0
	アラーム設定あり
	マナーモード(バイブレーション)設定中
	マナーモード(ミュート)設定中
	Bluetooth®機能利用中 待機中／接続中
	伝言メモ設定中 伝言メモ設定中／伝言メモ全件録音済み
	「NFC／おサイフケータイ®ロック」設定中
	すぐごえの「着信時に自動起動」を設定中

お知らせ／ステータスパネルについて

ステータスバーを下にスライドすると、お知らせ／ステータスパネルが表示されます。

お知らせ／ステータスパネルでは、お知らせの確認や対応するアプリケーションの起動ができます。また、よく使う機能を設定したり、ショートカットからアプリケーションを起動できます。



① **設定アイコン**

設定メニュー(▶P.60)を表示します。

② **機能アイコン**

よく使う機能のオン／オフを設定します。

お買い上げ時は、「Wi-Fi」「テザリング」(Wi-Fiテザリング)「Bluetooth」「GPS」「省電力」「マナー」「画面照明」「画面回転」「着信非表示」「読み上げ」(すぐごえの「着信時に自動起動」)の各機能が登録されています。

③ **アプリショートカット**

よく使うアプリケーションを起動します。

お買い上げ時は、「すぐごえ」「すぐ文字」「電話帳」「アラーム」のショートカットが登録されています。

④ **お知らせエリア**

本製品の状態やお知らせの内容を確認できます。情報によっては、タップすると対応するアプリケーションを起動できます。

⑤ **通知を消去**
タップすると通知をすべて消去します。

⑥ **付箋メモ**
メモを貼り付けることができます。

⑦ **月間カレンダー**
タップするとカレンダーアプリを起動します。

⑧ **編集アイコン**
タップするとお知らせ／ステータスパネルの編集画面が表示されます。項目をロングタッチして、並べ替える位置にドラッグして移動したり、「削除」にドラッグして削除します。「項目を追加」をタップすると、項目を追加できます。編集後は「完了」をタップします。

⑨ **閉じるタブ**
上にスライドするとお知らせ／ステータスパネルを非表示にします。

利用できるメニューを表示する

■オプションメニューについて

オプションメニューは、メニューを表示できる画面で「⋮」をタップすると表示されるメニューです。

例：アプリ一覧の場合



オプションメニュー

■コンテキストメニューについて

コンテキストメニューは、画面や項目をロングタッチすると表示されるメニューです。

例：ブラウザ画面の場合



コンテキストメニュー

文字入力

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などに表示される文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。
本製品では、次のソフトウェアキーボードを利用できます。

iWnn IME	主にひらがな／漢字／カタカナを入力する場合に選択するキーボードです。テンキー／フルキーの2種類があります。
漢字手書き（LaLaStroke）	入力したい文字種を選択し、手書き入力フィールドに文字を書き、入力します。一行で漢字を含めた複数の文字の入力ができます。
連続かな手書き（LaLaStroke）	入力したい文字種を選択し、手書き入力フィールドに文字を書き、入力します。一画ごとに文字認識を行う文字入力が行えます。

キーボードを切り替える

設定　漢字手書き（LaLaStroke）　連続かな手書き（LaLaStroke）



■テンキー／フルキーを切り替えるには

1 文字入力画面（テンキー／フルキー）→[⚙]→[テンキー⇔フルキー]

■テンキー／フルキーから手書き入力（LaLaStroke）に切り替えるには

1 文字入力画面（テンキー／フルキー）→[漢字手書き]／[連続かな]

手書き入力（LaLaStroke）の画面で「キーボード」をタップすると、手書き入力に切り替える前に使用していたキーボードに戻ります。



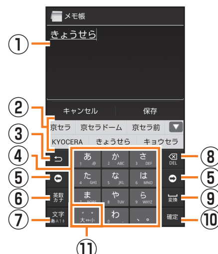
memo

◎入力ソフトは、アプリケーションをインストールして利用することもできます。インストール後に、「言語と入力」でアプリケーションを有効にしてください。

テンキー／フルキーで入力する

■文字入力画面（テンキー）

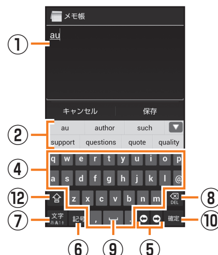
一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。文字入力キーをタップするたびに文字が切り替わります。
また、「フリック入力」を行うこともできます。詳しくは「フリック入力について」（▶P.46）をご参照ください。



《文字入力画面（テンキー）》

■文字入力画面（フルキー）

一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。文字入力キーをタップすると、キーに表示されている文字が入力されます。日本語は「ローマ字」で入力します。



《文字入力画面（フルキー）》

① **文字入力エリア**

② **通常変換候補リスト／予測変換候補リスト**

文字を入力して「変換」をタップすると、通常変換候補リストが表示されます。「予測変換」を有効に設定している場合は、文字を入力すると予測変換候補リストが表示され、入力が確定すると、さらに入力が予想される候補も表示されます。

• 「▼」をタップすると候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには、「▲」をタップします。

③ **バックキー／戻すキー**

⮌：同じキーに割り当てられた文字を逆の順に表示します。

• 「フリック入力」では、バック機能を利用できません。

Undo：文字入力確定後にタップして未確定の状態に戻すなど、直前の操作をキャンセルします。

④ **ソフトウェアキーボード**

各キーに割り当てられた文字を入力できます。

⑤ **カーソルキー**

カーソルを左／右に移動します。文字入力中／変換時は、文字の区切りを変更します。

⑥ **絵文字・記号・顔文字キー／英数・カナキー**※

記号：絵文字／記号／顔文字一覧を表示します。

英数カナ：入力したキーに割り当てられているひらがな、カタカナ、英字、数字、予測される日付や時間が変換候補に表示されます。

※操作する画面やアプリケーションなどによっては、入力できない文字種があります。

⑦ **文字種切替キー**※

入力する文字種を切り替えます。

タップするたびに、表示が次のように変更されます。

文字：ひらがな漢字入力　文字：半角英字入力

文字：半角数字入力　文字：音声入力

また、[⚙]→[入力モード切替]でカタカナや全角文字など他の文字種に切り替えることもできます。

文字：全角英字入力　文字：全角数字入力

文字：全角カタカナ入力　文字：半角カタカナ入力

※操作する画面やアプリケーションなどによっては、入力できない文字種があります。

⑧ **DELキー**

選択した文字やカーソルの左の文字を削除します。

⑨ **変換キー／スペースキー**

変換：通常変換候補リストを表示します。

• ひらがな入力中に表示されます。

␣：スペースを入力します。

• 数字／半角英字入力中などに表示されます。

⑩ **確定キー／Enterキー**

確定：入力中の文字を確定します。

⏎：カーソルの位置で改行します。

• アプリケーションや入力中の項目によって、表示が切り替わります。

⑪ **大文字／小文字切替キー**

ひらがな／カタカナ入力時に「大⇔小」をタップすると、入力した文字を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。

英字入力時に「A⇔a」をタップすると、入力した英字を大文字／小文字に切り替えます。

⑫ **シフトキー**

シフトキーをタップすると、大文字／小文字入力を切り替えます。タップするたびに、表示が次のように変更されます。

:小文字入力　　　:大文字入力ロック

:大文字入力

また、全角数字入力／半角数字入力時にタップすると、入力できる記号を切り替えられます。



予測変換について

◎ひらがな入力中に「」をタップすると通常変換候補リストに切り替えられます。「」をタップすると、再度予測変換候補リストに切り替えられます。

◎「ワイルドカード予測」（▶P.50）を設定している場合は、字数を指定して変換させることができます。カーソルが文末の右位置にあるとき、「」をタップするたびに「○」が表示されます。「○」は任意の1文字とし、変換候補には入力文字数以上の候補を表示します。

■フリック入力について

ソフトウェアキーボードが「テンキー」の場合、キーを上下左右にフリックすることで、キーを繰り返してタップすることなく、入力したい文字を入力することができます。

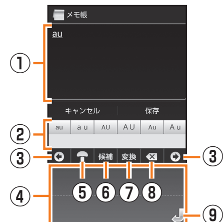
キーをロングタッチすると、フリック入力で入力できる候補が表示されます。入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字入力エリアに文字が入力されます。例えば「あ」を入力する場合は「」をタップするだけで入力でき、「お」を入力する場合は「」をロングタッチしてから下にフリックすると入力されます。



手書きで入力する

■手書き入力（LaLaStroke）画面（漢字手書き）

ひらがな／カタカナ／英字／記号／数字を手書きで入力できます。漢字を直接入力することもできます。



《手書き入力画面（漢字手書き）》

■手書き入力(LaLaStroke)画面(連続かな)

ひらがな／カタカナ／英字／記号／数字※を手書きで一画ごとに認識し、書いた先から文字に変換します。
ひらがな入力時に表示される変換候補から漢字を選択して入力することもできます。

※各種の文字の入力は、文字種切替キーで切替を行ってから入力してください。



《手書き入力画面(連続かな)》

1 文字入力画面(テンキー／フルキー)→[漢字手書き]／[連続かな]

手書き入力画面(漢字手書き／連続かな)が表示されます。

① **文字入力エリア**
② **変換候補欄**
③ **カーソルキー**
④ **手書き入力フィールド**
⑤ **マッシュルームキー**
マッシュルーム拡張機能を利用できます。
(▶P.49「マッシュルーム拡張機能を設定する」)
⑥ **文字種切替キー／候補キー**※
あ#1A／あ:入力する文字種を切り替えます。あ#1Aの場合は文字種を自動的に判別します。
候補:認識した文字の候補を表示します。
※「漢字手書き」の場合のみ、表示されます。
⑦ **スペースキー／変換キー**
スペース:スペースを入力します。
変換:認識した文字の漢字変換候補を表示します。
⑧ **DELキー**
⑨ **Enterキー**
カーソルの位置で改行します。

2 手書き入力フィールドで文字を手書きする

手書きした文字を認識すると文字が入力されます。

- 「漢字手書き」の場合、手書きした文字がうまく認識されないときは、「」をタップして正しい文字を選択してください。
変換候補欄の候補をタップして入力することもできます。

memo

◎「漢字手書き」の場合、手書き入力が早すぎるときや一文字ごとの間隔が広いときは、文字を認識できないことがあります。ゆっくり正確に入力してください。

■手書き入力の設定をする

1 手書き入力画面→[⚙]

手書き入力設定メニューが表示されます。

2

漢字手書き(LaLaStroke)操作説明	操作説明を表示します。
連続かな手書き(LaLaStroke)操作説明	
自動認識待ち時間	入力してから自動で認識するまでの時間を設定します。
文字サイズガイド線	文字サイズのガイド線を表示するかどうかを設定します。
スクロール時間	文字がスクロールする時間を設定します。
筆跡の太さ	筆跡の太さを設定します。
ガイドメッセージ	ガイドメッセージを表示するかどうかを設定します。
アルファベットガイド線	アルファベットのガイド線を表示するかどうかを設定します。

大文字小文字境界線	手書き入力フィールドに大文字と小文字の境界線を表示するかどうかを設定します。
カタカナを半角	カタカナを半角にするかどうかを設定します。
記号／数字／英字を半角	記号／数字／英字を半角にするかどうかを設定します。
ひらがなで数字を認識	ひらがな入力時に数字を認識するかどうかを設定します。
確定ジェスチャー	手書き入力フィールドの斜め左下フリックでの確定ジェスチャーを有効にするかどうかを設定します。
スペースジェスチャー	手書き入力フィールドの右フリックでのスペースジェスチャーを有効にするかどうかを設定します。
削除ジェスチャー	手書き入力フィールドの左フリックでの削除ジェスチャーを有効にするかどうかを設定します。
ヘルプジェスチャー	手書き入力フィールドの上フリックでのヘルプジェスチャーを有効にするかどうかを設定します。
文字種かなの絞り込み	かなを入力したときに文字種を絞り込むかどうかの設定をします。

※メニューに表示される項目は、画面によって異なります。

memo

◎手書き入力設定メニューでは、上記以外に候補学習、予測変換、日本語ユーザー辞書、英語ユーザー辞書、学習辞書リセット（▶P.49）が設定できます。
◎ジェスチャーについての詳細な説明は、操作2で[漢字手書き（LaLaStroke）操作説明]／[連続かな手書き（LaLaStroke）操作説明]→[ジェスチャーについて]と操作すると、表示できます。

文字入力の便利な機能を利用する

絵文字／記号／顔文字を入力する

テンキーまたはフルキーでは、絵文字／記号／顔文字を利用できます。

1 文字入力画面（テンキー／フルキー）→[記号]

絵文字／記号／顔文字一覧画面が表示されます。
文字入力画面に変換対象がない状態で表示されます。

2 絵文字／記号／顔文字を選択

■絵文字／記号／顔文字一覧画面の操作

▲／▼：前／次のカテゴリーやページの表示
戻る：文字入力画面に戻る
DEL：選択した文字やカーソルの左の文字の削除

memo

◎操作するアプリケーションや画面によっては、一覧画面の表示方法が異なる場合や、絵文字／記号／顔文字の表示や入力ができない場合があります。

文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける

1 文字入力画面→文字入力エリアをロングタッチ→「◢」／「◣」をドラッグして、範囲を選択

2 [Cut]（Cut）／[Copy]（Copy）

3 貼り付ける位置をタップしてカーソルを移動→カーソルをロングタッチ→[貼り付け]

貼り付け一覧画面が表示されます。

4 貼り付ける文字を選択

基本操作

マッシュルーム拡張機能を利用する

マッシュルームを利用すると、いろいろな文字入力に関する機能を拡張できます。

1 文字入力画面（テンキー／フルキー）→「記号」をロングタッチ

手書き入力画面では「 」をタップします。

2 アプリケーションを選択

■マッシュルーム拡張機能を設定する

マッシュルームを利用する前に、あらかじめマッシュルームの設定を行っておいてください。

1 文字入力画面（テンキー／フルキー）→[⚙]

2 [各種設定]→[マッシュルーム]→[使用する]→[OK]



◎マッシュルーム拡張機能は、アプリケーションをインストールしないと利用することはできません。

iWnn IMEの設定を行う

iWnn IMEでのキー操作時の操作音やバイブレータなどを設定できます。

1 文字入力画面（テンキー／フルキー）→[⚙]→[各種設定]

iWnn IME設定画面が表示されます。

2

キー操作音	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
キー操作バイブ	キーをタップしたときに、バイブレータを有効にするかどうかを設定します。
キーポップアップ	タップしたキーを拡大表示させるかどうか、フリック入力のガイドを表示させるかどうかを設定します。
自動大文字変換	半角英字入力時に、文頭の文字を自動的に大文字に変換するかどうかを設定します。
自動スペース入力	半角英字入力時に、変換候補の単語を選択するとスペースを自動入力するかどうかを設定します。
キーボードタイプ	ソフトウェアキーボードのタイプを変更します。
キーサイズ	画面の向きごとにキーボードの高さを設定します。
キーボードイメージ	ソフトウェアキーボードのイメージを変更します。
音声入力	音声入力を使用するかどうかを設定します。
フルスクリーンモード	フルスクリーンモードを有効にするかどうかを設定します。
フリック入力	フリック入力機能（▶P.46）を利用するかどうかを設定します。
フリック感度	フリック入力時のフリックの感度を設定します。

トグル入力	フリック入力が有効のとき、キーを繰り返しタップして入力する文字を切り替えるかどうかを設定します。
自動カーソル移動	文字入力後、自動でカーソルが移動するまでの間隔を設定します。 • カーソル移動後でも、゛（濁点）／゜（半濁点）の付加や、大文字／小文字の変換を行うことができます。
候補学習	変換候補リストから確定した文字を学習します。
予測変換	よく使う言葉や過去に変換・確定した文節を途中まで入力したときに変換候補を予測表示するかどうかを設定します。
入力ミス補正	フルキーで半角英字入力時、入力ミスの修正候補を表示するかどうかを設定します。
ワイルドカード予測	ワイルドカード予測機能（▶P.46）を利用するかどうかを設定します。
候補表示行数	ソフトウェアキーボードで文字入力する際に、予測変換などの変換候補リストを表示する行数を変更します。
マッシュルーム	マッシュルーム拡張機能を使用するかどうかを設定します。
日本語ユーザー辞書	▶P.50「ユーザー辞書に登録する」
英語ユーザー辞書	
学習辞書リセット	学習辞書の登録内容をすべて削除します。 • 絵文字／記号／顔文字の入力履歴も削除されます。

ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの読みと表記を、日本語と英語をそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

1 iWnn IME設定画面→［日本語ユーザー辞書］／［英語ユーザー辞書］

日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面が表示されます。

2 ［⋮］→［登録］

3 読み／表記を入力→［保存］



◎ 登録した単語を編集する場合は、日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面で編集する単語を選択→［⋮］→［編集］と操作します。

◎ 日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面で削除する単語を選択→［⋮］→［削除］→［OK］と操作すると、選択した単語を削除できます。また、日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面→［⋮］→［ユーザー辞書全消去］→［OK］と操作すると、すべての単語を削除できます。

電話をかける

1 **ホームスクリーン→[（電話）]**

電話番号入力画面が表示されます。

2 **電話番号を入力**

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

：入力した数字を1桁削除

（ロングタッチ）：すべての数字を削除

電話帳：電話帳を起動

「1」をロングタッチ→[OK]と操作すると、お留守番サービスセンターに接続され、伝言を聞くことができます。※

※お留守番サービスEXは有料オプションサービスです。

3 **[発信]→通話→[]（通話終了）**

通話中に を押すと、通話音量（相手の方の声の大きさ）を調節できます。



memo

◎ アプリ一覧→[設定]→[端末情報]→[端末の状態]と操作すると、「電話番号」欄で自分の電話番号を確認できます。また、電話帳を起動して、自分の電話番号を確認することもできます。

◎ 発信中／通話中に顔などによって画面を覆うと、誤動作を防止するため画面が消灯します。

◎「1401」を付加して電話をかけた場合の通話料は、auのぷりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。

◎ 送話口（マイク）を覆っても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。

◎「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号（110、119、118）へは電話をかけることができます。

■ 通話中に利用できる操作

アイコン	操作	説明
	はっきり通話	はっきり通話に切り替えます。
	スピーカー	ハンズフリー通話に切り替えます。
	ミュート	自分の声を相手に聞こえなくします。
	数字キー	プッシュ信号を送信できます。
	通話を追加	別の相手に電話をかけることができます。

■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。



memo

◎ 警察（110）・消防機関（119）・海上保安本部（118）について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。

◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。

◎ 緊急通報番号（110、119、118）の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。

◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。

◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。

◎ 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認の上、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。

◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

履歴を利用して電話をかける

1 電話番号入力画面→[発信履歴]／[着信履歴]

発信／着信履歴一覧画面が表示されます。

:着信
:着信(伝言メモあり)
:不在着信(赤色)
:不在着信(伝言メモあり)
:発信
:着信拒否
:不在着信(ワン切り※)

※約3秒以内に切れた不在着信をワン切りとみなします。お客様に折り返し電話させ、悪質な有料番組につなげる行為の可能性がありますのでご注意ください。

2 電話をかける履歴の[ ]

選択した相手に電話を発信します。

- 発信／着信履歴一覧画面で履歴をタップすると履歴詳細画面が表示され、音声発信以外にも伝言メモの再生やSMSの作成、電話帳への登録や着信拒否登録などの操作を行うことができます。


memo

◎発信履歴／着信履歴はそれぞれ最大50件まで保存され、50件を超えると最も古い履歴から自動的に削除されます。空き容量によっては、保存件数が少なくなる場合があります。

■着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、au電話の電源を切っていた場合や機内モード中の場合、または電波の届かない場所にいた場合、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。

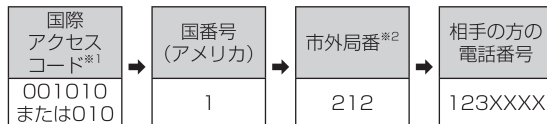
電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と相手の方の電話番号をお知らせします。

au電話から海外へかける(au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例:本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面→国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→[発信]



国際アクセスコード※1	→	国番号(アメリカ)	→	市外局番※2	→	相手の方の電話番号
001010または010		1		212		123XXXX

※1「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「001010」が自動で付加されます。
※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリア･モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります)。


memo

◎au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。

◎ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開できます。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。

◎通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。

◎ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ:
au電話から(局番なしの)157番(通話料無料)
一般電話から0077-7-111(通話料無料)
受付時間 9:00〜20:00(年中無休)

電話を受ける

1 着信中に「」を右にスライド

2 通話→[ ]（通話終了）

■ 着信を拒否する場合

1 着信中に[ ]→[拒否]

着信音が止まって電話が切れ、相手の方には音声ガイダンスでお知らせします。

■ 電話がかかってきた場合の表示について

お買い上げ時は、着信すると次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話帳に登録されている場合は、名前や画像などの情報も表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知がないと、ディスプレイに理由が表示されます。
  「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」
  ※相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

着信時に相手の方の電話番号や名前、画像などを表示しないようにすることもできます。


memo

かかってきた電話に出なかった場合は

◎ステータスバーにが表示されます。ステータスバーを下にスライドしてお知らせ／ステータスパネルを開くと、着信のあった時間や電話番号、または電話帳に登録されている名前が表示されます。

着信時に着信音、バイブレータを無効にするには

◎着信時に◄ ►を押すと、着信音、バイブレータを無効にすることができます。

他の機能をご利用中に着信した場合は

◎電話帳やメールなどをご利用中に着信した場合は、着信が優先され、通話終了後に再度ご利用が可能となります。

◎動画を録画していた場合は、録画が中断され、録画終了後の画面になります。

◎音声レコーダーなどで録音していた場合は、録音が中断され、録音していたデータは保存されます。

■着信中のメニューを利用する

1 **着信中に[ ]**

2

SMS応答	着信拒否をして、SMSのメッセージで応答します。 • 定型文を選択するか、または自分で文章を作成して返信することもできます。
伝言メモ応答	伝言メモのメッセージで応答し、相手の方の伝言を録音します。
転送	かかってきた電話に出ずに、転送先の電話番号へ転送します。
拒否	着信を拒否します。



memo

◎伝言メモ録音中に「 」を右にスライドすると、電話に出ることができます。

省電力ナビを利用する

バックライトの消灯時間や画面の明るさを最小値に設定したり、Wi-Fi®やBluetooth®接続などをオフにしたりすることで電池の消耗を抑えます。

1 アプリ一覧→[省電力ナビ]

省電力ナビの説明画面が表示されます。

- 「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。

2 [OK]

省電力設定画面が表示されます。

3

省電力設定	省電力モードを選択すると、省電力にするための項目が一括で無効、または最小値に設定されます。 各モードのエコレベルと待受時間が表示されます。 **OFF**：元の設定に戻ります。 **マイ省電力**：以下の項目を個別に設定できます。 **省電力モード**：「すべてのデータ通信」のみ設定できます。	
	バックライト消灯	バックライトが自動消灯するまでの時間を選択します。
	画面の明るさ	画面の明るさを設定します。
	画面の向き	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
	Wi-Fi	Wi-Fi®をオンにするかどうかを設定します。
	Bluetooth	Bluetooth®をオンにするかどうかを設定します。
	GPS機能を使用	GPS機能の設定をします。
	ライブ壁紙	ライブ壁紙の設定をします。
	NFC R/W P2P	NFC機能の設定をします。
	すべてのデータ通信	データ通信の設定をします。


memo

◎ 省電力設定画面で[■]→[その他の設定]→「自動で省電力モード」を選択、と操作すると、設定した電池残量の値（%）以下になると、自動的に省電力モードが設定されます。電池残量が設定した値（%）より上になると自動的に省電力モードが解除されます。

起動中のアプリケーションを管理する

1 省電力設定画面→「アプリケーション管理」タブをタップ

アプリケーション管理画面が表示されます。

2 終了するアプリケーションの「終了」をタップ

「全て終了」をタップすると、起動中のアプリケーションをすべて終了することができます。


memo

◎ アプリケーション管理画面で[■]→[常時起動アプリ設定]→常時起動させておくアプリケーションをタップして選択→[完了]と操作すると、「全て終了」をタップしても終了しないアプリケーションを設定できます。

◎ アプリケーションによっては、終了すると正常に動作できないものもありますので、「常時起動アプリ設定」に設定しておくことをおすすめします。

◎ アプリケーションによっては、「終了」をタップしても終了しないものがあります。

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害･避難情報、津波警報）、災害用音声お届けサービスを利用することができるアプリです。

1 **アプリ一覧→［au災害対策］**

au災害対策メニュー画面が表示されます。

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能となるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方のほか、他社携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。
詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご参照ください。

1 **au災害対策メニュー画面→［災害用伝言板］**

画面の指示に従って、登録／確認を行ってください。



memo

◎安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス（@ezweb.ne.jp）が必要です。あらかじめ、メールアドレスを設定しておいてください。
◎無線LAN（Wi-Fi®）接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。
◎当社は、本サービスの品質を保証するものではありません。本サービスへのアクセスの集中や設備障害に伴う安否情報の登録にかかわる不具合、安否情報の破損、滅失などによる損害または登録された安否情報に起因する損害につきましては原因の如何によらず、一切の責任を負いかねます点、ご了承のうえご利用ください。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害･避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。
お買い上げ時は、緊急速報メール（緊急地震速報および災害･避難情報）の「受信設定」は「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害･避難情報の設定にてご利用いただけます。
緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。津波警報を受信したときは、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 **au災害対策メニュー画面→［緊急速報メール］**

受信ボックスが表示されます。
確認したいメールを選択すると、メールの詳細を確認できます。

2

削除	受信したメールを削除します。
設定	**緊急地震速報**：緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。 **災害･避難情報**：災害･避難情報および津波警報を受信するかどうかを設定します。
	音量：受信音の音量を設定します。 **バイブ**：受信時にバイブレータが動作するかどうかを設定します。 **マナー時の鳴動**：マナーモード設定中は、マナーモードの設定でお知らせするかどうかを設定します。
	緊急地震速報：緊急地震速報の受信音やバイブレータの動作を確認します。 **災害･避難情報**：災害･避難情報および津波警報の受信音やバイブレータの動作を確認します。

memo

◎日本国内のみのサービスです(海外ではご利用になれません)。
◎緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。
◎電源を切っているときや通話中は、緊急速報メールを受信できません。
◎SMS/Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中であったり、サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル、地下など)や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
◎受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。
◎緊急速報メール受信時は、専用の警報音が鳴動します。警報音は変更できません。
◎お客様の現在地とは、異なる地域に関する情報を受信する場合があります。
◎当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
◎気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/

緊急地震速報について

◎緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ(震度4以上)が予測される地域をお知らせするものです。
◎地震の発生直後に、震源近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒~数十秒前に、可能な限りすばやくお知らせします。
◎震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
◎テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは、配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。

津波警報について

◎津波警報とは、気象庁から配信される津波警報(大津波、津波)を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。

災害・避難情報について

◎災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報を、お知らせするものです。

災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時にスマートフォンで音声を録音し、安否を届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

1 au災害対策メニュー画面→[災害用音声お届けサービス]

画面の指示に従って、登録を行ってください。

memo

◎音声メッセージの送受信は、LTE/3Gネットワークで利用可能です。無線LAN(Wi-Fi®)通信などは無効にしてご利用ください。
◎音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。
◎au携帯電話間のみ、音声メッセージのやりとりが可能です(他社携帯電話との相互利用は2013年春以降を予定しています)。
◎メディアの音量を小さくしている、もしくはマナーモードに設定している場合、音声を聞き取れない場合があります。
◎本体(メモリ)に空き容量がない場合は、音声メッセージが保存・再生できない場合があります。
◎音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくはauホームページをご覧ください。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む)を本製品にセットすることにより、データを保存／移動／コピーすることができます。また、電話帳、メールなどをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。



◎他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品で初期化してください。
◎著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行えても本製品で再生できない場合があります。
◎microSDXCメモリカードはSDXC対応機器でのみご使用いただけます。万一、SDXC非対応の機器にmicroSDXCメモリカードを差し込んだ場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットはしないでください。
SDXC非対応の機器でmicroSDXCメモリカードをフォーマットした場合、microSDXCカードからデータが失われ、異なるファイルシステムに書き換えられます。また、microSDXCメモリカード本来の容量で使用できなくなることがあります。

■取扱上のご注意

- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- microSDメモリカードをセットしている状態で、落下させたり振動･衝撃を与えたりしないでください。記録したデータが壊れる(消去される)ことがあります。
- microSDメモリカードスロットには、液体、金属片、燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災･感電･故障の原因となります。
- 本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

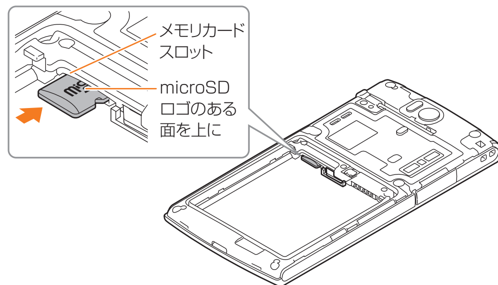
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す

microSDメモリカードを取り付ける

1 本体の電源を切り、電池フタと電池パックを取り外す（▶P.27）

2 microSDメモリカードの挿入方向を確認し、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し込む

挿入時はカチッと音がしてロックされていることをご確認ください。また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。



3 電池パックを取り付け、電池フタを装着する



◎microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードを取り外す場合は、必ずマウント(読み書き可能状態)を解除してから行ってください。

1 アプリ一覧→[設定]→[ストレージ]

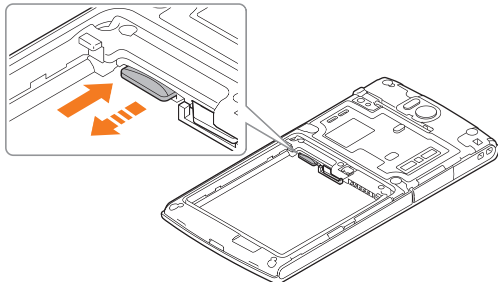
2 [SDカードのマウント解除]→[OK]

マウントが解除され、ステータスバーにが表示されます。

3 本体の電源を切り、電池フタと電池パックを取り外す

4 microSDメモリカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。



5 microSDメモリカードをゆっくり引き抜く

まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。
microSDメモリカードによっては、ロック解除できず出てこない場合があります。その場合は指で軽く引き出して取り外してください。

6 電池パックを取り付け、電池フタを装着する

memo

◎microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
◎microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
◎microSDメモリカードにインストールされたアプリケーションは、microSDメモリカードを取り外すと利用できません。
◎長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
◎データが壊れる(消去される)ことがありますので、microSDメモリカードにデータを保存中はマウント解除操作を行わないでください。

機能設定

設定メニューから各種機能を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズや、セキュリティの設定、データの初期化などをすることができます。

設定メニューを表示する

1 アプリ一覧→[設定]

設定メニュー画面が表示されます。

■設定メニュー項目一覧

項目	設定内容
Wi-Fi	無線LAN（Wi-Fi®）機能を設定します。
Bluetooth	Bluetooth®機能を設定します。
データ使用	データ通信量の表示やデータ通信の使用上限を設定します。
その他...	機内モードやVPN、MHL、テザリングなどの通信に関する設定を行います。
音	マナーモードやバイブレータ（振動）、着信音、通知音、操作音など、音に関する設定を行います。
ディスプレイ	フォントや壁紙、明るさ、画面の向きなど、画面表示に関する設定を行います。
ストレージ	本製品本体内やmicroSDメモリカードのメモリ容量の確認、microSDメモリカードの初期化を行います。
電池	電池残量や使用量を表示します。
アプリ	ダウンロードしたアプリケーションを確認したり、実行中のアプリケーションに関する設定を行います。
アカウントと同期	オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。
位置情報サービス	無線LAN（Wi-Fi®）機能やGPS機能などを使った位置情報に関する設定を行います。
セキュリティ	画面ロックの設定などセキュリティに関する設定を行います。
言語と入力	表示言語の設定、文字入力関連の設定を行います。
データの初期化	本製品本体の初期化を行います。
日付と時刻	日付と時刻の表示形式などの設定を行います。
ユーザー補助	通話終了時の動作や、ユーザー補助サービスの設定を行います。
開発者向けオプション	USBデバッグや疑似ロケーションなど、開発者向けの設定を行います。
端末情報	電話番号や電池残量などの情報を確認できます。ソフトウェア更新もここから行います。



memo

◎アプリ一覧→[⋮]→[端末設定]と操作しても、設定メニュー画面を表示できます。

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能(電話、パケット通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能)がすべてオフになります。

1 設定メニュー画面→[その他...]

2 「機内モード」を選択

機内モードがオンの場合でも無線LAN(Wi-Fi®)/Bluetooth®機能をオンにすることができます。航空機内や病院など電波の使用を禁止された区域では無線LAN(Wi-Fi®)/Bluetooth®機能を使用しないようご注意ください。



memo

◎ 携帯電話の使用が禁止されている場所(航空機内、医療機器や電子機器のそばなど)では、電源を切ってください。

◎ 機内モードを有効に設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客さまセンター)には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的に無効に設定されます。

◎ 機内モードを有効に設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能による通信なども無効にします。

◎ ⏻(1秒以上長押し)→[機内モード]と操作してもオン/オフを切り替えることができます。

マナーモードを設定する

マナーモードを設定することで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 設定メニュー画面→[音]→[マナーモード]

2 [OFF]/[バイブレーション]/[ミュート]



memo

◎ ⏻(1秒以上長押し)→[ ]/[ ]/[ ]と操作しても、ミュート/バイブレーション/OFFを切り替えられます。

◎ ◀を押すと、着信音量が1段階下がります。着信音量を下げることで、バイブレーション/ミュートにすることもできます。

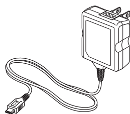
◎ マナーモード中でもカメラのシャッター音や録画開始/終了音は鳴動します。

◎ マナーモード設定中に機能設定の内容を再生して確認したときは、消音の状態でデータが再生されます。機能によっては、再生中に◀▶を押すと音量を調節できます。

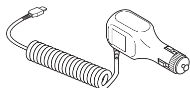
付録

周辺機器のご紹介

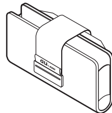
■ 電池パック（KYL21UAA）
■ 急速充電対応卓上ホルダ（KYL21PUA）
■ 卓上ホルダ専用ACアダプタ（KYL21PQA）
■ 共通ACアダプタ04（0401PWA）（別売）
■ 共通ACアダプタ03（0301PQA）（別売）
■ 共通ACアダプタ03 ネイビー（0301PBA）（別売）
■ 共通ACアダプタ03 グリーン（0301PGA）（別売）
■ 共通ACアダプタ03 ピンク（0301PPA）（別売）
■ 共通ACアダプタ03 ブルー（0301PLA）（別売）


共通ACアダプタ04

■ AC Adapter JUPITRIS（ホワイト）（L02P001W）（別売）
■ AC Adapter JUPITRIS（レッド）（L02P001R）（別売）
■ AC Adapter JUPITRIS（ブルー）（L02P001L）（別売）
■ AC Adapter JUPITRIS（ピンク）（L02P001P）（別売）
■ AC Adapter JUPITRIS（シャンパンゴールド）（L02P001N）（別売）
■ 共通DCアダプタ03（0301PEA）（別売）



■ auキャリングケースF ブラック（0105FCA）（別売）



■ ポータブル充電器02（0301PFA）（別売）
■ microUSBケーブル01（0301HVA）（別売）
■ microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）（別売）
■ microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）（別売）
■ microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）（別売）
■ microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）（別売）

※お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。

memo

◎最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ（http://www.au.kddi.com/）にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。
◎本ページの周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
http://auonlineshop.kddi.com/

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	電池パックは充電されていますか？	P.30
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.26
	電池パックの端子が汚れていませんか？	P.30
	(⏻)を長押ししていますか？	P.33
	充電ランプが黄色で点滅していませんか？	P.33
電源が勝手に切れる	電池パックは十分に充電されていますか？	P.30
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	電池パックは十分に充電されていますか？	P.30
電話がかけられない	電源は入っていますか？	P.33
	au Micro IC Card (LTE)が挿入されていますか？	P.28
	電話番号が間違っていませんか？（市外局番から入力していますか？）	P.51
	電話番号入力後、「発信」をタップしていますか？	P.51
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.61
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.42
	サービスエリア外にいませんか？	P.42
	電源は入っていますか？	P.33
	au Micro IC Card (LTE)が挿入されていますか？	P.28
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.61
(圏外)が表示される	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.42
	内蔵アンテナ付近を指などで覆っていませんか？	P.25
充電ができない	充電用機器は正しく接続されていますか？	P.31
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.26
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？ 温度によって充電を停止する場合があります。	P.30
	指定の周辺機器（アダプタなど）で充電をしていますか？	P.31

こんなときは	ご確認ください	参照
キー／タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.33
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.33
タッチパネルで意図した通りに操作できない	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。	P.35
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.33
が表示される	au Micro IC Card (LTE)が挿入されていますか？	P.28
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	P.30
電話が勝手に応答する	「伝言メモ」が設定されていませんか？	P.54
電池パックを利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？ • 赤色の充電ランプが消灯するまで、充電してください。	P.30
	電池パックが寿命となっていませんか？	P.14
	(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.42
	アプリ一覧→[⋮]→[アプリの管理]→[実行中]→使用していないアプリケーションや機能をタップして終了･停止してください。	－
電話をかけたときに受話部（レシーバー）から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.42
	無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	－
画面照明が暗い	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって画面の輝度を落とす場合があります。	－
	省電力モード設定時、画面の明るさが「暗い」へ設定されます。	P.55
相手の方の声が聞こえない／聞き取りにくい	通話音量が最小に設定されていませんか？	P.51
	受話部（レシーバー）が耳に当たるようにしてください。	P.25 P.26
画面が動かなくなり、どのキーをタップしても操作できない	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.33

こんなときは	ご確認ください	参照
電話帳の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知はありますか？通知がない場合は、電話帳の個別着信画像、着信音の設定は有効になりません。また、電話帳のグループ音声着信設定は有効になりません。	－
メモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しくセットされていますか？	P.58
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.59

さらに詳しい内容については、以下のauホームページのauお客さまサポートでご案内しております。

http://cs.kddi.com/support/komatta/kosho/index.html

イヤホンを使用する

イヤホン（市販品）、イヤホンマイク（市販品）、ステレオイヤホンマイク（市販品）を接続して使用します。

1 本製品のイヤホンマイク端子にイヤホンを接続


memo

◎イヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

ソフトウェアやOSを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。

ソフトウェアのアップデートの種別により、更新の方法が異なります。

- 本製品本体でソフトウェアをダウンロードして更新する
- 本製品本体でWi-Fi®を利用して、ソフトウェアをダウンロードして更新する
- パソコンに接続してソフトウェアを本製品に転送して更新する

■ ご利用上の注意

- au Micro IC Card (LTE)が挿入されていない場合は、ソフトウェア更新はできません。
- パケット通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新ができません。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新中は操作できません。110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ローミング中は、ご利用になれません。

• ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

ソフトウェアやOSをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。
「メジャーアップデート開始」では、本製品のOSをダウンロードできます。

1. **アプリ一覧→[設定]→[端末情報]→[ソフトウェアアップデート]**

2. **[ソフトウェア更新開始]／[メジャーアップデート開始]**
   以降は、画面の指示に従って操作してください。


memo

◎利用可能なネットワークを自動検索するために、ご契約内容によっては通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
◎ソフトウェア更新／メジャーアップデート後に元のバージョンに戻すことはできません。

パソコンに接続して更新する

OSのメジャーアップデートの場合は、パソコンにインストールできる「京セラAndroid端末アップデートツール」を使用して、ソフトウェアを本製品へ転送できます。「京セラAndroid端末アップデートツール」をインストールするパソコンは、インターネットに接続されている必要があります。
本製品をパソコンと接続するには、あらかじめパソコンにUSBドライバのインストールが必要です。USBドライバおよびインストールマニュアルについては、下記のホームページをご確認ください。
● auのホームページ:
http://www.au.kddi.com/seihin/ichiran/shuhenkiki/usb_cable_win/usb_driver.html

「京セラAndroid端末アップデートツール」の詳細については下記のホームページでご案内します。
● 京セラのホームページ:
http://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/consumer/kyl21/


memo

◎「京セラAndroid端末アップデートツール」はメジャーアップデートのご案内時に公開されます。

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■補修用性能部品について

当社はこのDIGNO S本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートプラスについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラス」をご用意しています(月額399円、税込)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

memo

◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎ au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎ 機種変更時・端末増設時などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」は自動的に退会となります。
◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客さまセンター(紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について)

一般電話からは フリーコール **0077-7-113**(通話料無料)
au電話からは　局番なしの**113**(通話料無料)

安心ケータイサポートセンター(紛失・盗難・故障について)

一般電話／au電話からは フリーコール **0120-925-919**(通話料無料)
受付時間9:00～21:00(年中無休)

■ auアフターサービスの内容について

サービス内容			安心ケータイサポートプラス	
			会員	非会員
交換用携帯電話機お届けサービス	自然故障	1年目	無料	補償なし
		2年目以降	お客様負担額 1回目：5,250円 2回目：8,400円	
	部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失			
預かり修理	自然故障	1年目	無料	無料
		2年目以降	無料（3年保証）	実費負担
	部分破損		お客様負担額 上限5,250円	
	水濡れ、全損、紛失、盗難		補償なし	補償なし （機種変更対応）

※金額はすべて税込


memo

交換用携帯電話機お届けサービス

◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機（同一機種・同一色、新品電池含む）をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。

◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

※ 詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理

◎ 水濡れ・全損はこの対象とはなりません。

◎ お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

利用できるデータの種類

本製品は、次のファイル形式の表示・再生に対応しています。

種類	ファイル形式
音	.3gp、.mp4、.m4a、.3g2、.flac、.mp3、.mid、.xmf、.mxmf、.rtttl、.rtx、.ota、.imy、.ogg、.mkv、.ts、.wav、.aac、.amr
フォト	.jpg、.png、.bmp、.gif、.webp
ムービー	.3gp、.mp4、.3g2、.ts、.webm、.mkv


memo

◎ サイズによっては再生できない場合があります。

◎ 著作権保護が設定されているデータは、再生できない場合があります。

主な仕様

ディスプレイ	約4.7インチ、約1677万色、TFT全透過型	
	720×1280ドット（HD720）	
質量	約157g（電池パック含む）	
連続通話時間	国内	約1110分
	海外（GSM）	約730分
	海外（CDMA）	約1220分：アメリカ本土／ハワイ／中国本土 • 対象国は2012年9月時点
連続待受時間	国内	約580時間（LTEエリア）
		約720時間（3Gエリア）
	海外（GSM）	約660時間
	海外（CDMA）	約570時間：アメリカ本土／中国本土 約710時間：ハワイ • 対象国は2012年9月時点
連続テザリング時間	約560分（WAN側3G） 約450分（WAN側LTE）	
サイズ（幅×高さ×厚さ）	約66×134×10.8mm（最厚部11.6mm）	

保存可能容量※1		約10GB
アウトカメラ有効画素数		約808万画素
インカメラ有効画素数		約120万画素
無線LAN（Wi-Fi®）機能		IEEE802.11a／b／g／n準拠
Bluetooth®機能	対応バージョン	Bluetooth®標準規格Ver.4.0＋EDR準拠※2
	出力	Bluetooth®標準規格Class 1
	通信距離※3	見通しの良い状態で10m以内
	対応プロファイル※4	SPP（Serial Port Profile） A2DP（Advanced Audio Distribution Profile） AVRCP（Audio／Video Remote Control Profile）Ver.1.3 HSP（Headset Profile） HFP（Hands-Free Profile） OPP（Object Push Profile） PBAP（Phone Book Access Profile） HID（Human Interface Device Profile） PXP（Proximity Profile） DUN（Dial-Up Networking Profile）※5
Bluetooth®機能	使用周波数帯	2.4GHz帯（2.402GHz～2.480GHz）

※1 データとアプリケーションで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリケーションの使用容量により減少します。
※2 本製品およびすべてのBluetooth®機能搭載機器は、Bluetooth® SIGが定めている方法でBluetooth®標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※3 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※4 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※5 ご利用いただくには「カーナビデータ通信設定」アプリが必要です。「カーナビデータ通信設定」アプリは「auポータル」→「メニューリスト」からダウンロードしてください。一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。
ご利用にあたっては、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。



◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種DIGNO Sの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。

この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR:Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.762W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨のauキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）を用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します（※2）。KDDI推奨のauキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）をご使用にならない場合には、身体から1.5cm以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。（http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_

japanese.htm)SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

○ 一般社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/index02.html

○ auのホームページ:
http://www.au.kddi.com/

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されました。国の技術基準については、2011年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

索引

知的財産権について

■商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



Google、Google ロゴ、Android、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴ、Play ミュージック、Playミュージックロゴ、Playムービー、Playムービーロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google マップ、Google マップ ロゴ、Google トーク、Google トーク ロゴ、Google Latitude、Google Latitude ロゴ、Google マップ ナビ、Google マップ ナビ ロゴ、Google+ ローカル、Google+ ローカル ロゴ、Google 音声検索、Google 音声検索 ロゴ、YouTube および YouTube ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。

Microsoft®、Windows®およびWindows®XP/Windows Vista®/Windows®7は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。

Microsoft®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®、Windows Media®、Exchange®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。
Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

microSD、microSDHC、microSDXCロゴはSD-3C,LLCの商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

AirStation™、AOSS™は株式会社バッファローの商標です。

Wi-Fi®、WPA®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標です。

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
「おサイフケータイ®」は株式会社NTTドコモの登録商標です。

© 2012 NBGI

「jibe」はJibe Mobile株式会社の商標です。

Skype、関連商標およびロゴ、「S」記号はSkype Limited社の商標です。

FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。

「GREE」は、日本で登録されたグリー株式会社の登録商標または商標です。

TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

Copyright © 2010- Three Laws of Mobility. All Rights Reserved.

本製品は株式会社セックのワンセグトータルソリューション「airCube for Android」を搭載しています。「airCube」は株式会社セックの登録商標です。

「NAVITIME」は、株式会社ナビタイムジャパンの登録商標です。

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote®により提供されます。Gracenoteは、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。
詳細については、次のWebサイトをご覧ください:www.gracenote.com
GracenoteからのCDおよび音楽関連データ:
Copyright © 2000 - present Gracenote.
Gracenote Software: Copyright 2000 - present Gracenote.
この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります:
#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。

一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe,Inc.から提供されました。
GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。
Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。
Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください:
www.gracenote.com/corporate

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnIMEを使用しています。
iWnn IME©OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2012 All Rights Reserved.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

（1）ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
（2）本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

「すぐ文字」「DIGNO」は京セラ株式会社の登録商標です。

絵文字ソリューションパッケージ © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2011 All Rights Reserved.

枠なし手書き文字認識は、株式会社東芝のLaLaStrokeを使用しています。
LaLaStrokeは株式会社東芝の商標です。

書体切り替えには、株式会社リムコーポレーションの「もじチェン」を使用しています。「もじチェン」は株式会社リムコーポレーションの登録商標です。
本製品には、株式会社リムコーポレーションの書体を搭載しています。
本製品には、株式会社モリサワの書体を搭載しています。

MHLのロゴ、MHLおよびMobile High-Definition LinkはMHL,LLCの商標です。

Copyright© 2012 DigiOn, Inc. All rights reserved.
デジオン、DigiOn、DiXiMは、株式会社デジオンの登録商標です。

DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Allianceの商標です。
DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
本機のDLNA認証は京セラ株式会社が取得しました。

本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。

本製品には赤外線通信機能としてイーグローバレッジ株式会社のDeepCore® 3.0Plus for Androidを搭載しています。Copyright© 2012 E-Globaledge Corp. All Rights Reserved.

静止画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「PhotoSolid」を採用しております。「PhotoSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。
動画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「MovieSolid」を採用しております。「MovieSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。
被写体自動追尾技術には株式会社モルフォの「TrackSolid」を採用しております。「TrackSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。
パノラマ画像生成技術には株式会社モルフォの「QuickPanorama」を採用しております。「QuickPanorama」は株式会社モルフォの登録商標です。
画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Effect Library」を採用しております。「Morpho Effect Library」は株式会社モルフォの商標です。
HDR(High Dynamic Range)技術にはMorpho HDRを採用しています。Morpho HDRは株式会社モルフォの商標です。

その他社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

このマニュアルで説明されている携帯電話にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点に注意ください。
(a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出をおこなってはなりません。
(b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
(c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の不侵害などの黙示の保証を行うものではありません。
ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License(GPL)、GNU Library/Lesser General Public License(LGPL)およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。
なお、オープンソースソフトウェアについては、以下に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

■ オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)またはその他のオープンソースソフトウェアライセンス及び／またはその他の著作権ライセンス、免責条項、ライセンス通知の適用を受ける第三者のソフトウェアを含みます。GPL、LGPL及びその他のライセンス、免責条項及びライセンス通知の具体的な条件については、本製品の「端末情報」から参照いただけます。詳細については当社ホームページをご覧ください。

本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェア及び京セラが許諾を受けたソフトウェアが含まれています。

本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社又は第三者が有しており、著作権法上認められた使用法及び当社が別途認めた使用法を除き、お客様は当社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

■ 輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。

また米国政府機関が定める米国輸出規制（Export Administration Regulations、およびその他の関連法令）、その他の国の法令等の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を直接的、または間接的とを問わず輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省、その他関係機関へお問い合わせください。

Gracenote®エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.（以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア（以下「Gracenoteソフトウェア」とする）を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報（以下「Gracenoteデータ」とする）などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする）から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアまたはGracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

- **Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。**

OpenSSL License

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.



FCC RF EXPOSURE INFORMATION

Warning! Read this information before using your phone.

Warning! Read this information before using your phone. In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human exposure to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards

bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these international standards.

Body-worn Operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.39 inches (1.0 cm) from the body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.39 inches (1.0 cm) must be maintained between the user's body and the back of the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain any metallic components. Body-worn accessories that do not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided.

Turn off your phone before flying

You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

European RF Exposure Information

Your mobile device is both a radio transmitter and receiver, and is designed not to exceed limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were produced by independent scientific organization, ICNIRP, and include safety margins designed to protect all persons, regardless of age and condition of health.

The guidelines apply a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit for mobile devices is 2W/kg, and the highest SAR value for this device was 0.640 W/kg*.

As testing measures SAR at the highest transmitting power of a device, actual SAR tends to be lower during ordinary operation. Lower SAR levels are typical during ordinary operation as automatic changes are made within the device to ensure the network can be reached with minimal power.

The World Health Organization (WHO) has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions to be adopted when using mobile devices. WHO also notes that those wishing to reduce exposure may do so by limiting call length and by using a ‘hands-free’ device to distance the phone from the head and body. For further information, please see the WHO website: http://www.who.int/emf.

* Note that tests are also carried out in accordance with international testing guidelines.

Declaration of Conformity for KYL21

The product ‘KYL21’ is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1 (a), 3.1 (b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/consumer/ (Japanese only).

-Note-

Below frequency bands are restricted for indoor use only.

5150 - 5250MHz(802.11a/n) in US

5150 - 5350MHz(802.11a/n) in EU

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。







使い終わったケータイに入ったデータは、バックアップや消去がしっかりとできるので安心です。





ご不要になったケータイや取扱説明書は
お近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/notice/recycle/index.html

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
フリーコール 0077-7-111	局番なしの157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR
AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
フリーコール 0077-7-113	局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。（無料）

フリーコール 0120-977-033（沖縄を除く地域）

フリーコール 0120-977-699（沖縄）

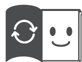
安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について（通話料無料）

一般電話／au電話から

フリーコール 0120-925-919

受付時間　9:00～21:00（年中無休）



取扱説明書リサイクルにご協力ください。

KDDIではこのマークのあるauショップで回収した紙資源を、製紙会社と協力し、国内リサイクル活動を行っています。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2012年10月第1版

発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：**京セラ株式会社**
KTH35WASXX-　1012YG